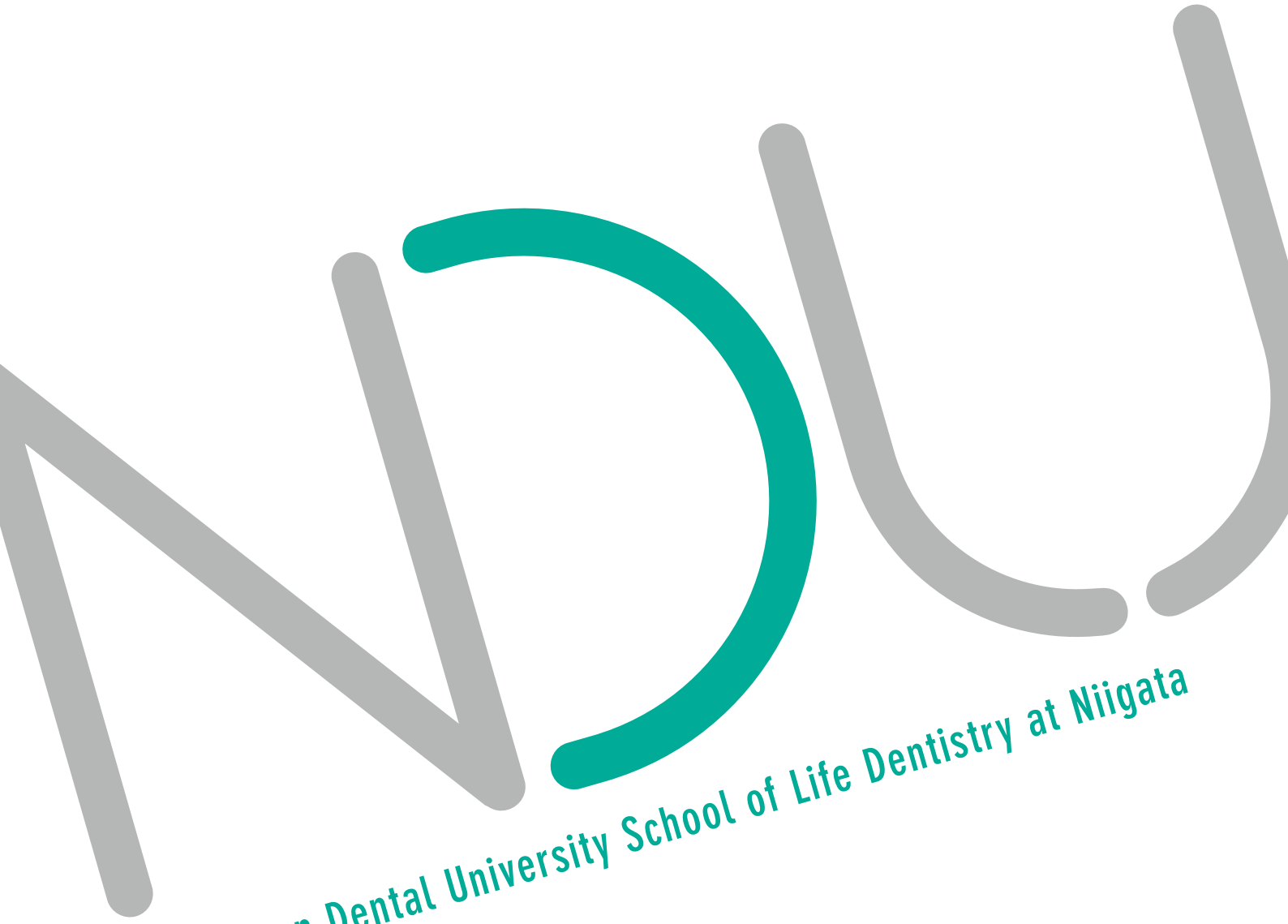
日本歯科大学 新潟生命歯学部



The Nippon Dental University School of Life Dentistry at Niigata

2021

2つの歯学部 学生諸君へ

学校法人 日本歯科大学理事長

中原　泉

Nakahara Sen

日本歯科大学は、明治40年に創立されました。それから65年後の昭和47年に、第２歯学部として新潟歯学部を増設しました。

明治の当時も昭和の当時も、歯科医師が過少という医療状況にあって、本学は、国民社会の要請に即応したのです。その結果、本学は、２つの歯学部を有する唯一の歯科大学、となりました。

第２歯学部の基本構想は、東京の既存の歯学部とは違う歯学部を造ることでした。そこで、地方都市に新しい特色あるキャンパスをめざして、まだ裏日本といわれていた日本海側の新潟市を選定しました。すでに、上越新幹線の開通計画がありましたので、東京の歯学部と新潟歯学部を結ぶ日帰り圏という立地であることも、選定の理由になりました。

東京の歯学部は皇居と外濠の間に位置する首都の中心地にあります。また新潟歯学部は、政令指定都市の中心地に緑豊かなキャンパスが広がります。

首都東京に憧れをもつ諸君は多いでしょう。一方、ローカル色を好む諸君も少なくありません。東京の歯学部も新潟歯学部も、どちらも魅力あり良い所が沢山あります。

そのいずれが自分に合うか、を判断基準にすることをお勧めします。どちらを選んでも６年後には、飯田橋あるいは新潟市が第２の故郷となるでしょう。

さらには、東京の歯学部で学んでも新潟歯学部で学んでも、諸君は同じ日本歯科大学の卒業生として巣立っていきます。同じ年の卒業生は、東京・新潟ともに同級生なのです。

卒業後には、日本歯科大学卒として日本歯科大学校友会に所属します。そして、同じ釜の飯を食った仲間として、また同じ仕事に携わる職業人として、大きな強い絆で結ばれます。

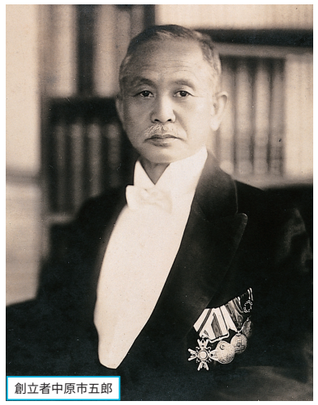
私は、日本歯科大学を卒業して後悔した人はいない、と信じています。

歯科医療の新時代をリードする

歯科界の源流として

日本歯科大学は、中原市五郎によって、明治40年(1907)６月、公立私立歯科医学校指定規則に基づくわが国最初の歯科医学校として創立されました。当時、歯科医療は黎明期にあり、「学・技両全にして人格高尚なる歯科医師の養成」を建学の目的としました。そして歯・顎・口腔の医学を教導し、学・術・道を兼ねそなえた歯科医師を輩出し、歯科医学の進展、歯科医療の向上、患者国民の福祉に尽力しました。

私学として創立者の「自主独立」という建学の精神を継承し、令和２年(2020)に創立114周年を迎えます。この114年におよぶ歴史と伝統は、本学がわが国の“歯科界の源流”といわれる由縁であります。


創立者中原市五郎

日本歯科医学専門学校指定第１回卒業生と職員

世界最大の歯科大学である

日本歯科大学は、現在、歯科医学の総合的大学として、２つの歯学部を有する唯一の歯科大学です。東京と新潟の両キャンパスを合わせて、２つの大学院研究科、２つの歯学部、３つの附属病院、２つの短期大学、および博物館などを擁し、学生総数約2,000名、専任教職員数約1,000名、および卒業生総数約20,000名を数えます。

本学は、まぎれもなく世界最大の歯科大学であります。

新潟生命歯学部

生命歯学部

日本歯科大学 新潟生命歯学部

「生命歯学部」のフロントランナー

日本歯科大学は、学部等の名称を『生命歯学部』に変更しました。これは、歯科医学は生命体を学ぶ学問であり、歯科医療は生命体への医行為であることから、生命科学のレベルに相応しいネーミングとして、生命という2字を冠したのです。これによって、歯科学生と歯科医師の意識を改革し、患者国民の歯科に対するイメージを一新することを期しています。

フロントランナーとして投じたこの一石が、歯科界はじめ患者国民の意識革命を促すものと信じています。

医科病院での臨床実習

臨床実習（訪問歯科診療）

臨床基礎実習

学校法人 日本歯科大学

新潟

新潟生命歯学部
- 新潟病院
- 医科病院
- 先端研究センター
- 図書館
- 医の博物館
- 在宅ケア新潟クリニック

大学院 新潟生命歯学研究科

新潟短期大学 歯科衛生学科 専攻科

新潟病院

東京

生命歯学部
- 附属病院
- 共同利用研究センター
- 図書館
- 口腔リハビリテーション
- 多摩クリニック

大学院 生命歯学研究科

東京短期大学 歯科技工学科 歯科衛生学科 専攻科

医の博物館

スマートフォンやタブレット端末などで下のQRコードを読み取ると動画を見ることができます。このパンフレット内に数カ所ありますので探してみてください。

NDU MOVIE

個性あふれる

伝統の日本歯科大学

校　章　　シンボルマーク　　100周年記念シンボルマーク

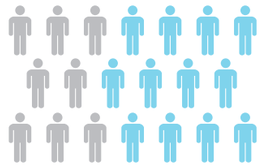
さすが114年の歴史！
オンリーワンが
いっぱいだね！

1 世界最大の歯科大学

	新潟	東京
大学院		2
歯学部		2
病院		3
短期大学		2
博物館		1

2 世界最多の歯科大学卒業生数

新潟　東京



総数２万余名、現在１万２千余名

3 わが国歯科大学唯一の三桁の卒業回数

新潟　東京

第109回卒業式（新潟生命歯学部）

4 わが国唯一の「生命歯学部」の学部名

新潟　東京

新潟 生命 歯学部

5 ２つの歯学部を有する唯一の単科大学

新潟　東京

6 わが国初の歯科医学校

新潟　東京

旧歯科医師法の制定に伴い、明治40年に設立されました。

日本歯科大学の前身、私立共立歯科医学校が創立された東京都千代田区大手町にある「日本歯科大学発祥の地」の碑。

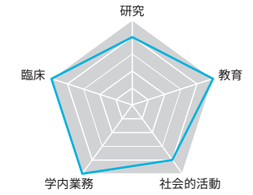
7 東京都の中心・飯田橋に位置する地の利

東京

飯田橋

8 本学教員評価法の確立

新潟　東京



9 IFを有する国際歯科学術誌『Odontology』の刊行

新潟　東京

P40

10 わが国最古級の大学新聞『日本歯科大学新聞』の刊行

新潟　東京

P58

日本歯科大学新聞創刊号（昭和23年）

11 わが国歯科大学最多、16ヵ国18大学と国際姉妹校提携

新潟　東京

P42

12 ブリティッシュ・コロンビア大学、ワシントン大学と「交換学生」34年間

新潟　東京

P36

ブリティッシュ・コロンビア大学の学生と

13 わが国歯科大学最多の大学ワークショップ開催

新潟　東京

P62

合同ワークショップ

14 わが国唯一の総合歯科医学辞典『常用歯科辞典』の刊行

新潟　東京

15 わが国唯一の公的医学博物館「医の博物館」

新潟　東京

P60

医の博物館

16 わが国唯一の歯科病院と併設の医科病院

新潟

P31

内視鏡検査

17 わが国唯一の訪問歯科診療科「訪問歯科口腔ケア科」

新潟

P32

18 私立歯科大学初、附属病院の日本医療機能評価機構の認定

東京

日本歯科大学附属病院

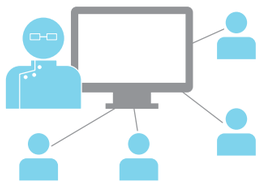
19 わが国唯一の口腔リハビリテーション専門医院「多摩クリニック」

東京

口腔リハビリテーション多摩クリニック

20 わが国唯一のインターネットによる口腔診断、附属病院の遠隔画像診断システムの設置

東京



21 最先端の臨床基礎実習施設

新潟　東京

P34

マルチメディア臨床基礎実習室（新潟生命歯学部）

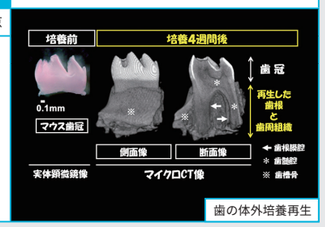
22 学生実習用患者ロボット「シムロイド」の開発

東京

患者ロボット「シムロイド」

23 歯の幹細胞による歯の再生の研究

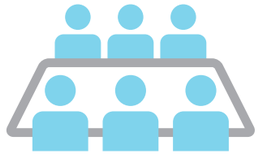
東京



歯の体外培養再生

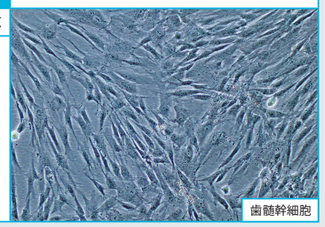
24 私立大学最初の「特定認定再生医療等委員会」の設置

東京



25 歯髄幹細胞による肝硬変等治療の研究

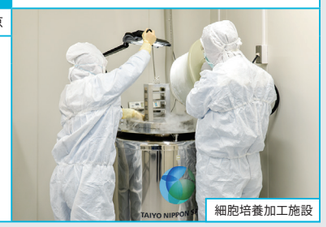
東京



歯髄幹細胞

26 わが国歯科大学唯一の再生医療のための「歯の細胞バンク」設立

東京



細胞培養加工施設

27 わが国歯科大学初の訪問歯科専門の診療所「在宅ケア新潟クリニック」

新潟

P33

在宅ケア新潟クリニック

28 わが国歯科大学初の認知症患者支援のカフェ「N-Café Angle」

新潟

P44

エヌ-カフェ・アングル

20年後の歯科界の風を感じる歯科大学

日本歯科大学 学長　藤井 一維
Fujii Kazuyuki

日本歯科大学は、わが国最初の歯科医学校であり、今年で114周年を迎えます。「歯科界のフロントランナー」である本学は、なぜ、フロントランナーなのでしょうか。

本学には、さまざまな日本初、歯科大学初等々、「初もの」をこの世に送り出しています。例えば、歯科病院に全国で唯一併設されている医科病院は、「歯科で臨床医学？」と思われていた昭和56（1981）年に全国の歯科大学ではじめて医科病院を開院しました。また、今から33年前、世の中が「これから高齢化社会が来るかもしれない」と思いはじめたものの、「歯医者の訪問診療」など誰もが考えもしなかった昭和62（1987）年に歯科大学として、はじめて、在宅往診ケアチーム（現在の訪問歯科口腔ケア科）を立ち上げ、訪問歯科診療を開始しました。さらに、平成24（2012）年には、わが国初で唯一の摂食障害・嚥下障害者の口腔リハビリテーションを専門とする口腔リハビリテーション多摩クリニックを開院しました。また、最近では、外来患者を受けない訪問診療専門のクリニックを、新潟県三条市に歯科大学・歯学部としてはじめて、平成30（2018）年に開設しました。

このように、本学は、常に生命体との関連性や社会の変化に対応できることを念頭におき、６年一貫性教育によるカリキュラムを編成し、口腔と全身を診ることのできる、20年、30年先の歯科界で生き抜ける歯科医師の養成を目指しています。

特に、世界でも類を見ない超高齢社会を迎えるにあたり、訪問歯科医療、口腔ケアおよび口腔リハビリテーションのみならず、医師・看護師・薬剤師・介護関係者など歯科医療従事者以外の多職種とも連携して地域包括ケアシステムに順応できる地域密着型の歯科医師の育成も重視しています。

本学は、社会ニーズの変化、すなわち、「むし歯を治療する歯科医師」から「生涯を通じておいしく食べることを支える歯科医師」、そして「健やかに生きるを守る歯科医師」を育成できる、そしてこの変化の風を感じることのできる歯科大学なのです。

日本歯科大学
新潟生命歯学部長　中原　賢
Nakahara Ken

これからの社会に求められる歯科医師の育成

新潟生命歯学部の最大の特長は、高い教育力にあります。「学生第一主義」を掲げ、学生の立場に立った、手厚い教育を基本としています。高い専門性と指導力を兼ね備えた教員が学生指導にあたり、これからの時代に必要な歯科医療について学ぶことができます。この高い教育力により、絶えず変化する現代社会に適応する歯科医師を育成しています。

平成27（2015）年に、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が国会で成立されたという背景もあり、現在、働く女性の社会進出が注目を浴びています。新潟生命歯学部は、女子学生の増加に柔軟に対応し、女性の社会進出を見据えた教育を行ってきました。このことを裏付けるように、本学は、今年の「大学別・女性社長輩出ランキング2020（東京商工リサーチの集計データを基にダイヤモンド編集部が作成）」で10位に入っています。近年では、女性歯科医師の働き方の新たな選択肢にもなる、訪問診療専門の診療所・在宅ケア新潟クリニックでの実習を取り入れました。出産・育児によって働くことをあきらめることなく、社会に出て活躍できる女性歯科医師を輩出していきたいと考えています。

また、新潟生命歯学部は、グローバル化し、多様化する世界に適応できる人材の育成を目指しています。国籍や年齢、性別などにとらわれず、自分と違う人々と共存していく能力が求められる現代社会を生き抜くために、多様性を受け入れ、倫理観を養うことができるようなカリキュラムや施設の充実をはかっています。その一つが活発な国際交流です。世界にある18の姉妹校とさまざまな国際交流プログラムを展開し、一部の大学とは交換学生制度を設けています。

このように、我々は、時代に対応し、社会のニーズに合う医療人、また社会に貢献できる歯科医師を育成するために、個人を尊重した教育を提供していきたいと考えています。

建学の精神と目的

本学は、その創立以来建学の精神を「自主独立」、学校の目的を「学・技両全にして人格高尚なる歯科医の養成」と定め、百年を超える年月において脈々と継承している。

基本理念

本学は、高等教育機関として、広く知識を授けるとともに、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的および応用能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする。

教育目標

1. 幅広い教養と倫理観を持った医療人の育成
2. 問題を発見し解決する能力を持った医療人の育成
3. コミュニケーション能力のすぐれた医療人の育成
4. 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人の育成
5. 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人の育成
6. 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人の育成
7. 僻地医療や高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人の育成
8. 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人の育成
9. 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人の育成
10. 世界をリードする国際性を有する医療人の育成

ディプロマポリシー

日本歯科大学は修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。

- 生命体との関連性に幅広い知識を有し、必要に応じて応用できる能力
- 幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- 根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け、患者の問題を発見し解決する能力
- 高いコミュニケーション能力を身につけ、患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- 専門に偏らない幅広い知識を身につけ、その基本的技能を実践する能力
- 超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- 医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- 生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

日本歯科大学新潟生命歯学部では、自然豊かなのびのびとした新潟のキャンパスで、
学（学ぶ）・術（磨く）・道（育む）を通し、高いレベルの歯科医学教育を行っています。

学ぶ

知識と技術は、車の両輪です。この２つが相まって力を発揮するのです。本学では、６年間の知識の習得を、一般教育系科目、歯科基礎系科目、臨床系科目へとグレードを上げながら、カリキュラムにしたがって学びます。知識は技術の裏付けとなるものですから、徹底的に習得することが必要です。学びの環境が整った日歯新潟で学んでみてはいかがでしょうか。

日歯新潟で学ぶ
現役学生の声

円谷 祐太朗
Tsumuraya Yutaro

新潟生命歯学部４年
東京都新宿区出身

スマートフォンやタブレット端末などで下のQRコードを読み取って動画をCHECK！

NDU MOVIE

磨く

繰り返し、根気よく訓練することが技能の習得には欠かせません。講義でしっかり習得した知識が実習をスムーズに運ぶポイントです。よくいわれる、器用とか不器用とかは関係ありません。訓練次第で乗り越えることが可能なのです。できるまで、何度も何度もチャレンジすることで、歯科医師として、人として大切な忍耐力も磨かれます。たゆまぬ努力こそ、歯科医師への早道といえるでしょう。

育む

出会いは、いつも新鮮です。大学に出会い、クラスメートに出会い、教師に出会い、患者さんに出会い……。さまざまな出会いのなかで、豊かな人間性と教養人としての素養を磨き、歯科医師としての優れた見識を養うことが大切です。日歯新潟で過ごす６年間の多くの出会いによって自然と「思いやりの心」が身についていることでしょう。ここには人を育むすばらしい環境があります。

新潟で学ぶ、日歯大で学ぶ、学びの理想がここにある

教育、施設、環境、臨床、研究……など、日本歯科大学新潟生命歯学部の魅力は数多くあります。
学びの理想、新潟生命歯学部のおもな特長をご紹介いたします。

1 充実した臨床研修の場――新潟病院・医科病院

→ P30–31

本学のキャンパスには新潟病院と医科病院があります。新潟病院は歯、顎、口腔の総合医療施設です。医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、新潟病院と同様に入院施設も備えます。本学の学生は、第５学年における臨床実習で新潟病院はもちろん、医科病院でも実習があります。近年の歯科分野は口腔だけでなく全身にも多く関係します。このような時代に即した臨床実習が行えるのは新潟生命歯学部の大きな特長となっています。

新潟病院での臨床実習

第５学年の臨床実習では、東京の生命歯学部とも交流があります。新潟の学生は東京の附属病院で、東京の学生は新潟の新潟病院、医科病院で実習を行えます。

→ P29

新潟病院で実習する東京の学生

医科病院での手術見学

2 在宅歯科診療の先駆け

→ P32–33

新潟病院では、開院以来地域歯科医療の拡充に務めており、1987年から全国歯科大学に先駆けて「訪問歯科診療」を行っています。

本学の学生も、チームの一員として参加し各家庭や施設をまわり、在宅歯科医療の重要性を学びます。2011年３月の東日本大震災ではいちはやく被災地に医員を派遣し、口腔ケア支援活動や亡くなられた方の歯科的身元確認にあたりました。

訪問歯科診療

3 学習に適した多くの施設

→ P14–15, 34–35

本学には、多くの洗練された学びの環境があります。最新のIT機器やシステムを備えたマルチメディア臨床基礎実習室は第１学年から実習で使用します。自習の場としても、図書館のほか、ITセンター、学習室、セミナー室、レストラン（GAKUSHOKU）やロビーなどでも夜遅くまで学生たちが学んでいます。

マルチメディア臨床基礎実習室

4 安心・安全な女子寮も完備

→ P54

大学から徒歩５分という絶好のロケーションに新潟生命歯学部新潟寮（女子寮）があります。オートロックで管理人さんも常駐していますのでセキュリティ面もバッチリです。歯科大学ならではの技工室も完備しています。

新潟女子寮

5 国際交流を重視

→ P36–37

日本歯科大学には世界に18の姉妹校・協定校があります。特にカナダにあるブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）とは積極的に交流を行っています。ほかにも、台湾の中山医学大学、中国の四川大学華西口腔医学院などとも盛んに交流しています。

ブリティッシュ・コロンビア大学への交換留学

6 国内唯一の医学博物館

→ P60

医の博物館は、日本初の、また唯一の医学博物館として平成元年（1989）９月に開館しました。歴史的資料（史料）を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的としています。歯科のみならず、医学や薬学に関する史料約5,000点を展示、保管しています。

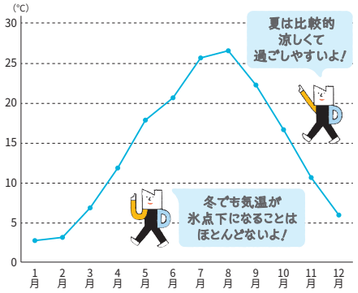
医の博物館

7 魅力あふれる都市、新潟

→ P55–56

日本海側最大の都市新潟。なかでも日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスは、新潟市中央区の緑も多く残る住宅街にあります。新潟駅周辺は大型店舗やファッションビルなどが並び、多くの人でにぎわっています。交通のアクセスも良く、東京までは新幹線で約２時間、沖縄や北海道にも新潟空港から直行便があるので短時間で行き来できます。新潟市内は気候も穏やかで、１、２月でも氷点下になることはほぼなく、雪も少なく、住みやすい環境です。さらに、新潟県内にはちょっと足を伸ばせば魅力的な観光スポットも多くあり、冬にはウィンタースポーツも気軽に楽しめます。

新潟市月別平均気温
2015―2019／気象庁調べ



新潟市のシンボル萬代橋

ウィンタースポーツも楽しめる

NDU NIIGATA CAMPUS MAP

A 新潟病院

８つの診療科、13の診療センターと特殊外来を持つ、歯・顎・口腔の総合病院。

B 医科病院

内科、外科、耳鼻咽喉科があります。

C 図書館

８万５千冊の蔵書、800を超える学術雑誌が収蔵されています。

D 学習室

静寂な環境で落ち着いて学習できます。

E マルチメディア臨床基礎実習室

１号館の２階にある最新のIT機器とシステムを備えた実習室。

F 講 堂

入学式・卒業式、学術講演などに使われます。

G GAKUSHOKU

ランチタイムには多くの学生で賑わいます。

H 医の博物館

日本初の公的な医学博物館です。

I セミナー室

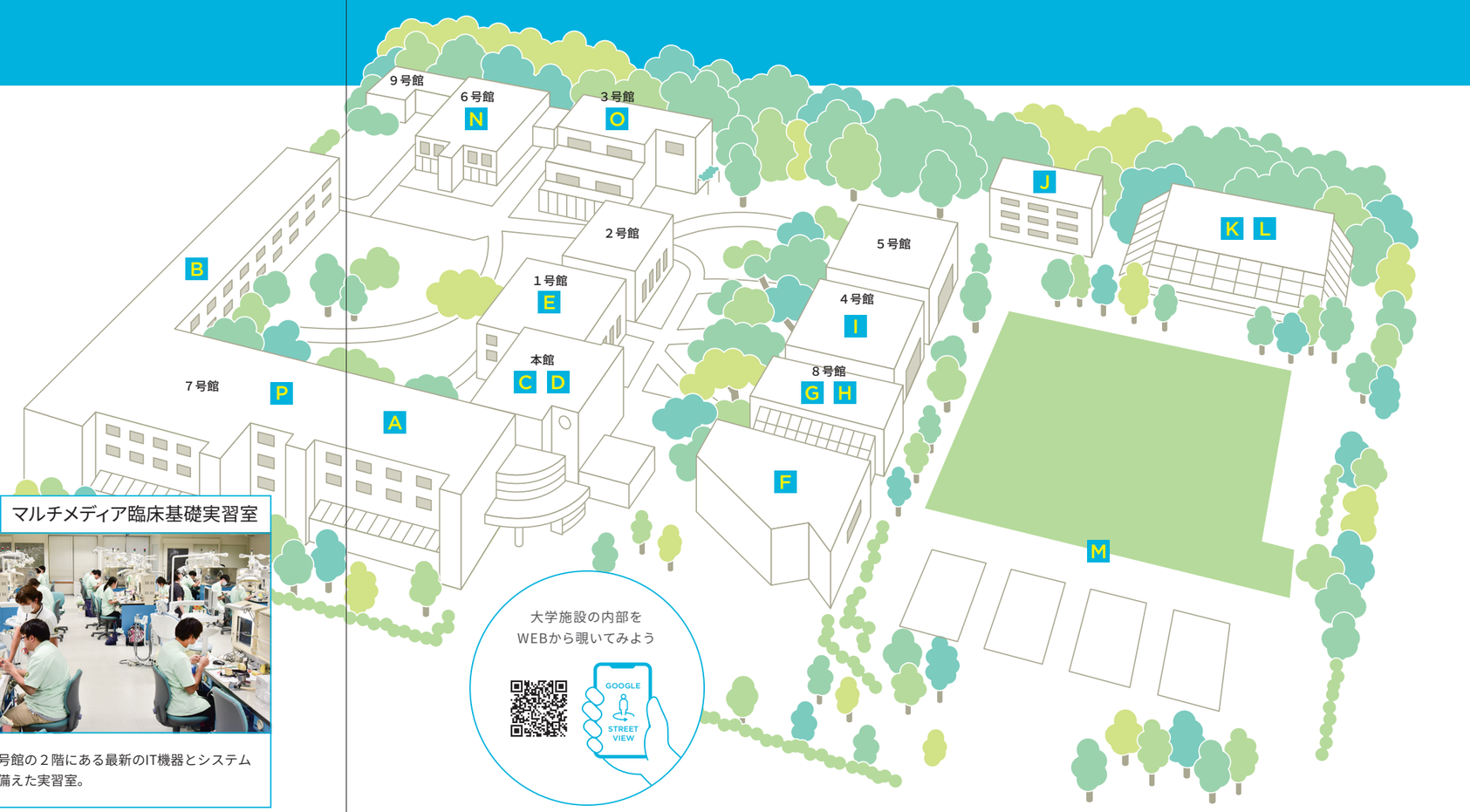
４号館の２階にあり、グループ学習や夜間の課外勉強に利用されています。

J 学生会館

クラブの部室、剣道・柔道など武道系の道場があります。

K 体育館

建物の２階部分が体育館になっています。



L トレーニングルーム

ランニングマシンやエアロバイクなどさまざまなトレーニングマシンがあります。

M グラウンド

全面に人工芝を敷いたグランドはサッカー、ラグビーなどのクラブ活動で使用されています。

N 先端研究センター

最先端の研究を行っています。

O 日本歯科大学新潟短期大学

歯科衛生士を養成します。

P コンビニエンスストア

通常のラインナップに加え、歯ブラシなどの歯科用品も取り扱っています。

ロビー

各講義室の前にはロビーがあり、放課後には自習等にも使用されています。

在学生×OG

日本歯科大学新潟病院で臨床研修医をしている本学OG渡辺先生、徐々に大学生活に慣れてきた２年生の古川君、目標の歯科医師に近づきつつある５年生の永田さんに、歯科医師を目指したきっかけから、勉強面、本学の魅力について語り合ってもらいました。

※座談会当時、渡辺先生は歯科医師臨床研修医、古川君は１年生、永田さんは４年生。

歯科医師を志したきっかけ

古川　渡辺先生が歯科医師を目指したきっかけは何ですか？

渡辺　もともと医療関係の仕事に就きたいと思っていたことや、父と姉が歯科医師だったことも歯科医師を目指したきっかけですね。古川君と永田さんは？

古川　両親は違うのですが、親戚に医療関係の仕事をしている人が多かった影響と、子どもの頃から長いこと矯正治療をしていて、歯科医院に通ううちに歯科医師に興味を持ちました。

永田　私は父が歯科医師で母が歯科衛生士なので、子どもの頃から歯科医師にはなじみがありました。また、手先の細かい作業をすることが好きだったこともあります。

渡辺　新潟生命歯学部を選んだ理由は？

古川　特待生制度があるので学費の負担を抑えられることと、親戚が新潟に住んでいて、部屋が空いているので下宿させてもらえることも理由の1つです。

永田　父が本学卒業ということもありますし、なにより実家から通えるということが大きかったです。卒業後も新潟で働きたいと思っていましたので、他大学の選択肢は全く考えませんでした。

渡辺　私も実家から通える点と、新潟のキャンパスは自然豊かで静かな環境のもと勉強ができると思い、本学を志望しました。

古川　渡辺先生は新潟病院で歯科医師臨床研修医をなさっていますが、どのようなことをされているのですか？

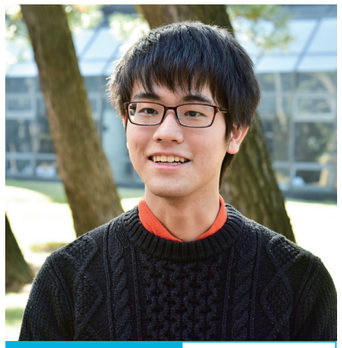
渡辺　歯科医師の免許を取得してもすぐに独立して歯科診療に従事することはできなくて、1年以上の臨床研修期間が必要なのです。研修内容は、指導医のもとで患者さんの診療を行ったり、学生時代には勉強しなかった保険診療についても勉強します。

永田　大変なことはどんなことですか？

渡辺　患者さんの治療計画を立てるのが大変です。患者さんによっては持病があったり、ご希望もあるので、教科書通りにはいかないことが多いです。それぞれの患者さんに最適な治療を考えることが大事ですし、責任感もすごく感じます。

古川　やりがいはどんなところに感じますか？

渡辺　歯科治療は1回で終わることはほとんどありません。例えば入れ歯が必要な患者さんには、歯型の型どりから技工士さんへの依頼など時間をかけて入れ歯を製作します。その入れ歯が患者さんにきちんと装着できて、うまく咬み合わせができるようになった際に達成感を感じますし、そういった患者さんから「ありがとう」と言われるとやりがいがある仕事だと実感しますね。



古川 喜大
Furukawa Hisahiro
新潟生命歯学部２年
神奈川県横浜市出身

永田 琴乃
Nagata Kotono
新潟生命歯学部５年
新潟県新潟市出身

勉強についての悩み

古川　１年生では歯科に関する授業の他に、一般教養の授業が多いことと、先生によっては教科書を使用したり、ノートをとることが必要だったりとさまざまな授業スタイルがあってなかなかついていくのが大変です……。

渡辺　確かに一般教養の授業が歯科とどう結びつくのかと思うかもしれないですが、例えば物理では「矯正」と関係してきますし、生物だと「遺伝」については国家試験に出題されることもあります。しっかりマスターしておくと将来のためになるので頑張って勉強してください。また、授業方法への対応ですが、さまざまな授業方法を経験することで、自分の勉強方法も確立されると思います。今のうちにどんな勉強方法が自分にあっているか、授業を通して探ってみるのもいいと思いますよ。

永田　４年生になって臨床系の実習がメインになり、模型を使用して実習をしているのですが、自分で思っている以上に器用ではないのかなと心配しているのですが……。

渡辺　私も当時臨床系の実習でうまくいかないことがあって、永田さんと同じように悩んでいた時期がありました。そんな私も今は歯科医師として患者さんを治療しています。たくさん練習して、たくさん失敗すれば上達し、自信もついてきます。また臨床系の実習で大事なのは、治療の流れを理解することです。時間がかかってもじっくり手順を理解しながら練習していってください。

永田　国家試験も近づいてきて不安なのですが、渡辺先生はどういった勉強をしてきましたか？

渡辺　６年生になると毎日が国家試験対策の授業になります。授業では大事なポイントをわかりやすく説明してくれますので、参考書は一切使用せずに、毎回配られるプリントをファイリングして何度も読み返したり、毎日の授業を大事にしていました。私は６年生時の授業を信じて勉強してきていい結果が出ましたので、永田さんも６年生になったら意識してしっかりと授業を受けてください。

日歯新潟の魅力

古川　渡辺先生は本学の魅力をどんなところに感じますか？

渡辺　一番いいなと思ったことは、先生との距離感が近いことだと思います。勉強で分らないことや疑問点があったら、新潟病院の医局にも気軽に行っていろいろ教えていただきましたね。また、先生方が学生一人ひとりを見守ってくれている感じがあり、暖かさを感じました。

永田　私も先生方との距離感が近いのを感じます。それと、クラスメイトとは「一緒に歯科医師になろう」と目標に向かってまとまっていますので、そういったことも大学生活が楽しい一因かと思います。

古川　僕もクラスメイトとの関係がいいと思います。まじめで個性豊かな友達に囲まれて楽しく大学生活を送れています。クラブ活動もたくさんあって、先輩後輩のつながりを持つのにいいと思います。僕は微生物グルンドに入っていますが渡辺先生はクラブ活動についてはどう思いますか？

渡辺　私はバドミントン部に入っていて、やっぱり先輩後輩の縦のつながりが強くなるのでクラブ活動はおススメですね。バドミントン部のOBの先生も教員として大学にいらっしゃるので、質問などもしやすいですしね。

永田　私もソフトテニス部と軽音楽部に入っています。同じ大学敷地内にある歯科衛生士になるために勉強している新潟短期大学の学生も一緒に活動するので、歯科衛生士さんを目指す学生といろいろ話ができて交流ができるのも楽しいですね。

古川　微生物グルンドでは研究発表などを通じて、他大学の学生とも交流が持てるのもいいと思います。

渡辺　そうですね。先輩後輩だけでなく、多くの人と交流を持てるクラブ活動は本学に入学したらぜひ入部を考えてもらえればと思いますね。では、最後に本学を目指す学生さんにひと言もらえますか？

古川　新潟のキャンパスは緑に囲まれて、自然豊かな環境で勉強することができます。大学の裏には日本海が広がり、四季折々の自然を楽しみながらのびのびと歯科医師を目指してみるのはいいのではないでしょうか。

永田　本学は、先輩後輩、先生方、クラスメイトなど、人と人のつながりが深いと思います。私は実家通いですが、一人暮らしする学生も大学周辺に多く住んでいて、勉強面や私生活でも助け合ってますので、一人暮らしでも安心して学生生活を送れると思いますよ。

渡辺　IT教室や実習室などの学習施設から、テニスコートやグラウンドなどの運動施設までさまざまな施設が充実しています。また、同じ歯科医師という目標を共有して過ごす６年間でクラスメイトとの絆も深まり、一生の友達がたくさんできると思います。ぜひ、本学で歯科医師を目指していただきたいと思います。

渡辺 有理
Watanabe Yuri
平成30年度
新潟生命歯学部卒業
新潟県新潟市出身

FRESHMAN'S EYE フレッシュマンズ アイ

みなさんが目標とする歯科医師の仕事は多岐にわたっています。ここでは、卒業してまだ
間もない若手の歯科医師の先生に、大学時代の思い出から、現在のお仕事のお話を伺いました。

より大きな視野をもって

小林　鷹先生　Kobayashi Yoh

平成26年度
新潟生命歯学部卒業
日本歯科大学生命歯学研究科
歯科保存学講座所属

高校時代に将来の進路を考えていた際、学校の教師になりたいとも考えていたのですが、新潟生命歯学部を卒業して歯科医師となった両親から歯科医師の選択肢も提示され、興味を持ちました。本学のオープンキャンパスに参加し、自然の多い校舎など、学校の雰囲気がとても良く、のびのびとした環境で学べると思い、本学に入学し歯科医師を目指しました。

学生時代の思い出はたくさんありますが、1つは温泉卓球同好会で活動していたことですね。3年生時には部長になり、文化祭で模擬店を出店したり、マイナーな部活ではあるのですが、部員を50人くらいまで増やして楽しく活動していました。

もう1つは、5年生の登院実習です。厳しくも優しい指導医の先生のもとで1年間過ごしました。「学生という意識ではなく、歯科医療スタッフとして中途半端なことはしてはいけない」というスタンスで、たくさんの患者さんに触れさせていただくことができました。その時の1年間の実習で、歯科医師としての今が形成されたと思っています。

本学の良い点は、学びたいと思うとそれにきちんと応えてくれる点だと思います。先生方は熱意にあふれていて、手厚く指導していただけます。アットホームな環境の中で、本気で怒ってくれる先生方が多く、親身に学生のことを考えてくれているのだと思います。また、各学年の教室も近いこともあり、クラスメイトはもちろん先輩後輩間の結びつきも強いのは本学の特長なのではないかと思いますね。

卒業後は新潟病院で1年間の歯科医師臨床研修期間を経て、現在は東京の日本歯科大学生命歯学部の大学院に入学し、歯内療法について学んでいます。歯内療法とは、痛みを取り除くために歯の神経を抜き、そこをきれいにして樹脂を詰める治療法です。治療についての技術を高めるとともに、そこで使用する材料などについて研究し、今後の歯内療法学の発展に寄与できればと思っています。

その他、日本歯科大学附属病院で週に4日ほどのペースで患者さんの治療も行っています。診療中に大事にしていることは、診療に慣れ過ぎてしまわないことです。慣れてしまうと仕事が粗くなってしまうこともありますので、昨日より、今日、そして明日と少しずつでも技術をあげていくという意識と緊張感を持ち続けていきたいと思います。大学を卒業し、臨床研修医になって「小林先生」と呼ばれた時、歯科医師になったのだと自覚しとてもうれしかったことと同時に更に責任感も持たなければならないと感じたことを覚えています。その日の喜びと責任感を忘れずに仕事をしていこうと思います。

今後は、今学んでいる歯内療法での専門性をあげていきたいことと、その他の義歯や詰め物などの分野でもスキルを向上させていきたいと思います。そのためには、できるだけ大きな視野を持って、さまざまなことに興味を持っていきたいと思います。

歯科保存学講座での研究風景

患者さんの診療もしています

5年次の病院実習（本人、中央）

理想の歯科医師像を確立するために

村井 琴恵先生　Murai Kotoe

平成28年度
新潟生命歯学部卒業
東京都江戸川区
こばやし歯科クリニック勤務
日本アンチエイジング歯科学会認定医

両親共に歯科医師の家庭で育ち、その背中を見て自然と「自分も将来歯科医師になるんだろうな」と思っており、両親の母校である日本歯科大学新潟生命歯学部に入学しました。

在学中は勉強面でかなり苦労はしましたが、本学はITセンターやセミナー室など、遅くまで開放している勉強スペースがあるため、勉強するには適した環境だったと思います。わからないことがあるとすぐに周りの先生や友達に聞けるのが非常に素晴らしい環境でした。

部活動は軽音楽部に所属しており、人前で喋ることが苦手な私がライブでステージの上に立って人前で歌ったことが思い出です。また、大学時代一緒に勉強したり遊んだりと苦楽を共にした友人とは、今でも連絡を取り合い仲良くしています。当時は大学の近くに住んでいる学生が多かったので、初めての一人暮らしに寂しさを感じたことはほとんどありませんでした。6年制の大学でなければこんなに関係の深い友達はできなかったのではないかと思います。

大学卒業後は、学生気分を一掃し新たな環境で研修をしたいという思いから、新潟大学で1年間研修をしました。新潟大学では総合診療科に所属し、春に配当された患者さんの治療計画を立案するとともに1年間通して実際に治療をしました。研修後は上京して東京の開業医で働くことを決めていました。その理由としては、審美歯科・美容歯科に興味があり、東京の開業医であればさまざまな症例に触れることができ、さらには勉強会に参加してより多くの知識を身に付けるのに適していると思ったからです。

こばやし歯科クリニックの存在は、就職セミナーで知りました。さまざまな専門医の先生や多職種のスタッフがいることや、マイクロスコープが16台のユニット全てに完備してあり自由に使用できることなどから、見学に行った日にすぐに「ここで働きたい」と決めました。

学生時代の話に戻りますが、私は5年時の病院実習の際にマイクロスコープを使用した菅原先生の診療を何度も見学させていただき、マイクロスコープの実用性の高さを感じていました。自分も卒業したらマイクロスコープを使用した診療をできるようになりたいとその時に強く思いました。こばやし歯科クリニックでは、治療時に必ずマイクロスコープを使用するので、学生時代からのやりたかった診療が実現できました。

今はなるべくどんな分野も好き嫌いせず学ぼうと思い、それまであまり臨床で経験する機会がなかった訪問歯科、小児歯科も行なっています。興味があった審美歯科では、充実したCAD/CAMシステムの設備があるのでセラミック修復に力を入れています。

仕事を通じて、座学だけではわからないことがたくさんあり、臨床を経験してから苦手意識がなくなることもあると思いました。卒業5年目以降の先生達は、自分の治療の考え方や専門が確立している人が多いので私も早くそうなれるように頑張りたいです。

マイクロスコープを使用した診療

洗練されたデザインの診療所

5年次の病院実習（本人、中央）

新潟生命歯学部の６年間

本学は創立以来、自立して歯科医療を担うことができる医療倫理観をそなえた歯科医師の育成に努めています。医学の一領域・人体の健康を担う医療人として、歯だけでなく生命体に対する医療行為として学ぶことに力を入れています。

新潟生命歯学部は、６年一貫制のカリキュラム編成にしたがい、一般教育から、基礎、臨床教育へと効率的で整合性のある講義・実習を実施しています。

さらに、自己学習能力やコミュニケーションの能力を高めるために、PBLテュートリアル教育（問題基盤型学習）を取り入れています。

また、第５学年での新潟病院の臨床実習と並行して保健センター、福祉施設、保育園でのフィールド実習も行っています。歯学生が医療チームの一員として医療行為の一部を行い、歯学生として責任を負うことによって、歯科医師となるために必要な知識・技能のみならず態度や価値観などプロフェッショナリズムを身につけることができます。

1学年

医療人初期教育と語学教育、PBLテュートリアル教育を行っています。

- 熱と物質の物理
- 生体物質の化学
- 細胞の生物学
- 自然現象の数学
- 歯学入門実習
- 初年次セミナー
- 総合英語
- 実用医学英語Ⅰ
- 基礎独語
- プロフェッション
- 基礎科学補講Ⅰ
- 基礎科学補講Ⅱ
- 基礎科学演習
- 情報科学の実習
- 国語表現法
- 歯科医学入門演習（LBP）
- 社会学
- 経済学
- ドイツの生活と情報
- 青年心理学
- 環境学の基礎
- 医学概論・歯科医学史
- ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ
- ヒトの一生
- 臨床から振り返る基礎学
- 健康科学Ⅰ
- 材料科学
- 早期臨床実習Ⅰ

2学年

基礎系の歯学教育を中心に、理系の選択科目や臨床心理学、さらに国際性を有する医療人を育成するため、医療英語・英語会話教育を行っています。

- 実用医学英語Ⅱ
- 英語会話（Conversational English）
- 臨床心理学
- 原子核と放射線
- 物質の構造と反応
- 生命の連続性と遺伝子
- 生化学
- 解剖学
- 解剖学実習
- 生理学
- 感染微生物学
- 口腔解剖学
- 口腔解剖学実習
- 発生学
- 人類学
- 組織学
- 口腔組織学
- 薬物療法学
- 生体機能調節学
- 社会歯科入門
- 基礎口腔保健学
- 病理学
- 歯科薬物療法学
- 歯科理工学
- 歯科理工学実習
- 医療統計学
- 唾液と唾液腺
- 基礎歯科医学補講Ⅰ・Ⅱ
- 口腔生化学
- 専門歯科治療概論
- 顎口腔運動制御学
- 健康科学Ⅱ

3学年

基礎系および臨床系の科目で構成され、関連領域を統合して学ぶことを主としたPBLテュートリアル教育も行っています。

- 歯科理工学
- 分子生命科学実習
- 組織・口腔組織学実習
- 生理学実習
- 生体防御学
- 感染微生物学・生体防御学実習
- 口腔病理学
- 歯科薬物療法学実習
- 地域口腔保健学
- 口腔保健学実習
- 病理診断学実習
- 口腔腫瘍学
- 歯科症候学演習（PBL）
- 早期臨床実習Ⅱ
- 歯科矯正学
- 歯科矯正学実習
- 小児歯科学
- 歯内療法学
- 顎口腔機能診断学
- 顎口腔機能診断学実習
- 口腔顎顔面外科学
- 歯科放射線学
- 歯冠補綴架工義歯学
- 全部床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学
- 保存修復学
- 歯周疾患治療学

4学年

臨床系の歯学教育を中心として、さらに医療倫理や医療法律学、隣接科学も学び歯科医療コミュニケーションの実習も行っています。

- 歯科法医学
- 医療倫理
- 医療法律学
- 歯科医療コミュニケーション実習
- 医療情報・医療管理学
- 歯科薬剤学
- 小児歯科学
- 小児歯科学実習
- 口腔顎顔面外科学
- 口腔顎顔面外科診断治療学
- 部分床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学実習
- 歯科麻酔と救急処置
- 歯周疾患治療学実習
- 全部床義歯補綴学実習
- 歯冠補綴架工義歯学
- 歯冠補綴架工義歯学実習
- 口腔顎顔面外科手術学
- 口腔外科学・全身管理学実習
- 保存修復学実習
- 歯内療法学実習
- 高齢者歯科学
- 障害者歯科学
- 歯性感染症
- 顎咬合診断・口腔インプラント学
- 口腔インプラント学実習
- 歯科医のための内科学
- 外科学
- 耳鼻咽喉科学
- 歯科心身医学
- 臨床診査・検査学

一般教育系科目
歯科基礎系科目
臨床系科目

※記載のカリキュラムは平成31年度第1学年以降

5学年

新潟病院では、各科をローテーション方式でまわり、きめ細やかな実習を行います。総合診療科では診療事務も担当することで、一般歯科、診療の基本的原理を理解し、基本的臨床能力を習得します。医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科の各科で臨床実習があり、全身を学ぶ貴重な機会があります。また、診療問題の解決方法を学ぶPBL、TBL教育も行っています。

- 臨床（病院）実習

6学年

５年間で学んだ歯科基礎系科目と臨床系科目を統合し、再確認します。そして歯科医師として必要な知識を身につけ、歯科医師国家試験にそなえます。

- 総合科目①
- 総合科目②
- 総合科目③

国家試験

臨床研修

歯科医師
大学院

LBPの実施　LTD Based PBL

LBP（LTD Based PBL）は、LTD（話し合い学習法）に基づくPBLテュートリアル（学生が主体となって少人数制で行う問題基盤型学習）のことで、PBLテュートリアルの進化形として本学で開発され、全国で初めて実施しています。本学のカリキュラムでは、初年次教育を支える授業科目のひとつである第1学年の歯科医学入門演習でLBPを行っています。

TBLも採用　Team Based Learning

本学ではLBPに加え、TBLも授業で採用しています。TBLは少人数制のPBLを広い教室などで一斉に行うものですが、LBPと同様に自主的な学習が可能な授業形態で、より専門性の高いチューターのもと問題解決型の学習を行います。

カリキュラムポリシー　ディプロマポリシーはP9に掲載

建学の精神である「自主独立」のもと、ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために、以下の通りカリキュラムを編成しています。

- ディプロマポリシー達成のため、シラバスに全授業科目の到達目標、学習方略、評価方法を明記し、学習計画を提示します。
- 歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学、人文・社会科学、語学教育、情報科学教育を行うとともに、医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により、医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- LBP（LTD Based PBL）により、論理的思考に基づく問題解決能力、科学的探究心を養成します。
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学、臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに、臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。
- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育、ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し、その一員として診療業務を分担しながら、歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して、訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において、シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

BEST TEACHER　ベストティーチャー賞 受賞

三瓶 伸也 准教授
Sanpei Shinya
６年　小児歯科学

現在、第2～6学年の小児歯科学と障害者歯科学の講義を担当しています。その中で特に重視しているのは、学生がわかりやすいように伝えることです。専門用語は平易な言葉に置き換え、イラストや写真を豊富に提示するなど、より学生の理解が深められるように努めています。

今回、ベストティーチャー賞を拝受し、大変光栄に思います。しかしながら、学生からの批判的な意見がなかった訳ではありません。受賞に満足することなく、さらなる向上を目指し、学生教育に尽力していきたいと考えています。

■ベストティーチャー賞
学生によるアンケート結果から、過去３年間で最も評価の高かった教員に対してベストティーチャー賞を授与しています。

一般教育系

GENERAL EDUCATION

より前向きに学ぶことのできる充実したカリキュラム

茂木 美伶
Mogi Mirei

新潟生命歯学部2年
東京都杉並区出身

第1学年で主に学ぶ一般教育系科目では、入学前に学んできたことのおさらいをしっかりとした後、新たな知識を習得します。先生方が歯科に関する内容も含めつつ教えてくださるので、モチベーションを保つことができます。さらに、プリントで演習したり、配布資料で何度も理解を深めたりしていくことで、より前向きに学ぶことができます。また、早期臨床実習では、病院内の見学や歯科材料に触れる等、貴重な経験ができます。未来の自分の姿を想像して、歯科大生としての実感や使命が湧いてきます。

講義では、材料科学に夢中です。講義内容が難しい回もあって、少し不安もありました。しかし、苦戦しながらも治療に最良な材料は何なのか、自分で考えることのできる楽しさや喜びを感じています。

大学の中庭では潮の香りが気持ちよく、少し歩けば、美味しいご飯屋さんでお腹いっぱいになれたり、緑や海でリラックスできたり、そんなとても恵まれた場所で自己研鑽に努めることができています。

大学に入学してまず学ぶのは、一般教育系科目。幅広い教養に裏打ちされた豊かで個性的な人間性を養い、歯科医学を学ぶために必要な知識を習得します。

第１学年から第２学年にかけて、医療人初期教育、人文・社会科学、自然科学、語学教育、情報科学の５項目を、効率よく編成された時間割にしたがって、週５日間にわたって学びます。

さらに、診療、研究で使用されるコンピュータ技術、ネットワークについての基礎的な理解をするためにコンピュータ実習も行われます。

第１学年はクラス別編成で少人数授業が行われ、学生間の交流も盛んです。

一般教育系教授

長田　敬五　初年次教育担当
［教育学修士・博士（水産学）］

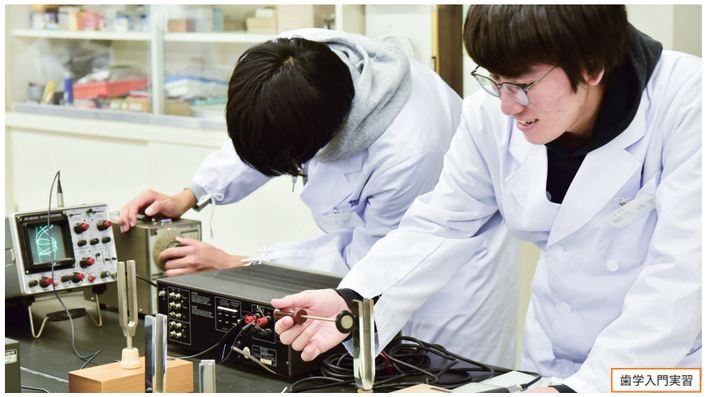
歯科医学入門演習（LBP）

歯科医学入門演習（LBP）

自然現象の数学

プロフェッション

▲ 1年生から社会で活躍する歯科医師の先生方の話を聞き、プロフェッショナリズムについて議論することで歯科医師の社会的使命を認知し、職責を自覚します。



歯学入門実習

サポーターからのメッセージ MESSAGE

第1学年サポーター
太田　信助教
Ota Shin

日本歯科大学
新潟生命歯学部
歯科矯正学講座

充実した学生生活を送るために

大学へ入学すると、新しい学習分野、初めての一人暮らし、新しい友人・先輩、部活動など、多くの面で今までの生活環境が大きく変化します。

そこで、私たちサポーターは、第1学年から第2学年までの2年間、講義・実習の出席状況確認や勉強方法の指導など学習面でのサポートだけでなく、友人・先輩とのコミュニケーション、部活動、一人暮らしなど生活面でのサポートも面談やメール等で確認し、アドバイスをさせていただきます。

学生生活6年間の最初の2年間、特に初年度は、規則正しい生活習慣と毎日コツコツ勉強する学習習慣を身につけるためにとても大切な学年です。しかし、入学当初の日常生活は、多くのことに困ったり、不安になったりすると思います。そのような時に、どんなことでも心置きなく相談しやすい存在になり、充実した学生生活を送れるよう精一杯サポートしていきたいと思います。

■サポーター制度
第1、第2学年の期間、6～8名の学生に対し、1名のサポーター（臨床系若手教員）を配し、就学中の勉学・生活両面のサポートを行っています。

歯科基礎系
DENTAL BASICS

日々新しい発見との出会いが学びのモチベーション

溝口 光生
Mizoguchi Koki

新潟生命歯学部3年
石川県金沢市出身

第２学年に進級すると、それまで１年次で学んできたような教養科目が少なくなり、後期になるとほとんどが歯学の専門的な科目になります。それに伴い授業数の増加や難度の上昇など大変なことがたくさんありますが、これから歯科医師となるために必要な知識を身につけているという実感と高揚感が湧いてきます。

解剖学実習や歯科理工学実習といった歯科基礎系科目の実習では、実際に自分の目で見たり、手で触れながら学習することができます。

これまで頭の中で漠然と思い浮かべていた学習内容や知識を、実物に触れながら定着させることができますので、とても有意義なものとなります。

専門的な科目を学習することで勉強に対するモチベーションも上がり、また、新たに獲得した知識と他の科目の知識とを繋げて新たな発見を見つけることで楽しみを見出しながら学習することができます。

歯科基礎系科目では、歯科医学の専門的知識をより深く追求します。授業は、講義と実習がセットになって行われ、実習では、教員の数もより多く、きめ細かな指導が特長です。これらを通じて、これからの歯科医療人としての見識と、幅広い知識と技術の習得を目標としています。

第1学年から第４学年にかけて、種々の科目を履修します。例えば、歯科理工学は、歯科における材料ならびに器械・器具についての基礎科学と応用科学を学びます。口腔解剖学は、解剖学とは別に、頭頸部の骨、顎の関節、筋、脈管、神経、内臓、歯と歯周組織、咽頭および喉頭などを集中的に学びます。歯科症候学演習は、歯科医学と社会の急速な進歩とニーズに対応するために、総合・実践的知識、自己・生涯学習の習慣、問題発見・解決能力、コミュニケーション技能・態度を身につけます。

歯科基礎系教授

影山 幾男	解剖学１［博士(医学)］
吉村 健	解剖学１［博士(歯学)］
石山 巳喜夫	解剖学２［歯学博士］
佐藤 義英	生理学［博士(歯学)］
森田 貴雄	生化学［博士(医学)］
岡田 康男	病理学［博士(歯学)］
葛城 啓彰	微生物学［歯学博士］
仲村健二郎	薬理学［歯学博士］
小松﨑 明	衛生学［博士(歯学)］
大熊 一夫	歯科理工学［歯学博士］

歯科理工学実習

病理診断学実習

口腔解剖学実習

右のQRコードを
読み取って
動画をCHECK！

歯科症候学演習（TBL）

ファンダメンタルスキル実習Ⅰ

ファンダメンタルスキル実習Ⅱ

◀▲ ファンダメンタルスキル実習はⅠ（コミュニケーションスキル）とⅡ（ハンドスキル）があり、歯科の基礎となる実習を第１学年から行っています。

新潟と東京の両生命歯学部の連携

交換授業

日本歯科大学は新潟と東京に2つの歯学部がありますが、同じ教育方針を共有し学生に対し指導しております。その1つとして、さまざまな授業科目で新潟生命歯学部、東京の生命歯学部の教員がお互いに行き来し、授業をする交換授業を行っています。

新潟生命歯学部の教壇に立つ東京校小児歯科学講座の苅部洋行教授

臨床系
CLINICAL-RELATED STUDIES

多くの知識と技術を習得してスキルアップをはかる

茂木 美沙希
Mogi misaki
新潟生命歯学部5年
群馬県藤岡市出身

第４学年では、第５学年での臨床実習に向け、今までより多くの臨床系科目の実習を行っています。設備の整ったマルチメディア臨床基礎実習室で実習を行うことで、座学で学んだ科目についてより深い理解を得ることができ、歯科診療を行う上での技術の向上にも繋がります。難しい内容の実習もありますが、先生方が優しく丁寧に教えてくださるので、わかりやすく実習を進めることができます。

年度末にはCBTやOSCEといった共用試験があり、第５学年の臨床実習に進むために知識と技術が問われます。座学、実技と学ぶことが多くとても大変ですが、自分自身のスキルアップに繋がり、やりがいを感じられます。

部活動では現役最後の１年を過ごすこととなります。私はPMA（ポピュラーミュージック）部として、好きな音楽を演奏しライブを行っていました。部活と勉強の両立が大変な時期もありましたが、部活を通して多くの仲間とも出会え、とても充実した日々を送ることができました。

臨床系科目は、一般教育系科目と歯科基礎系科目で習得した知識と技術をもとに、臨床に即した知識と技術を習得し、豊かな人間性を持った歯科医師を養成することを目指しています。

臨床基礎実習は､最新設備をそなえたマルチメディア臨床基礎実習室で行われます。すべての学生の能力を最大限に引き出すため、学生８名に対して教員１名という、きめ細かい指導体制が整っています。

医科病院には、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔のみにとどまるのではなく、全身を総合的にとらえて治療しなければならない、という日本歯科大学の基本的な考え方がここにも表れており、医科を学び次のステップの病院実習へと進みます。

歯冠補綴架工義歯学実習

歯内療法学実習

歯科医のための内科学

▶ 臨床系科目の中には早期臨床実習Ⅰがあり、第１学年から新潟病院・医科病院で実際の医療の場を見学します。

下のQRコードを読み取って動画をCHECK!

早期臨床実習Ⅰ

歯科臨床系教授

新海 航一	歯科保存学２［歯学博士］
佐藤 聡	歯周病学［歯学博士］
小出 馨	歯科補綴学１［歯学博士］
渡邉 文彦	歯科補綴学２［歯学博士］
田中 彰	口腔外科学［博士(歯学)］
藤井 一維	歯科麻酔学［博士(歯学)］
遠藤 敏哉	歯科矯正学［歯学博士］
黒木 淳子	小児歯科学［博士(歯学)］
小椋 一朗	歯科放射線学［博士(歯学)］

教務部長からのメッセージ MESSAGE

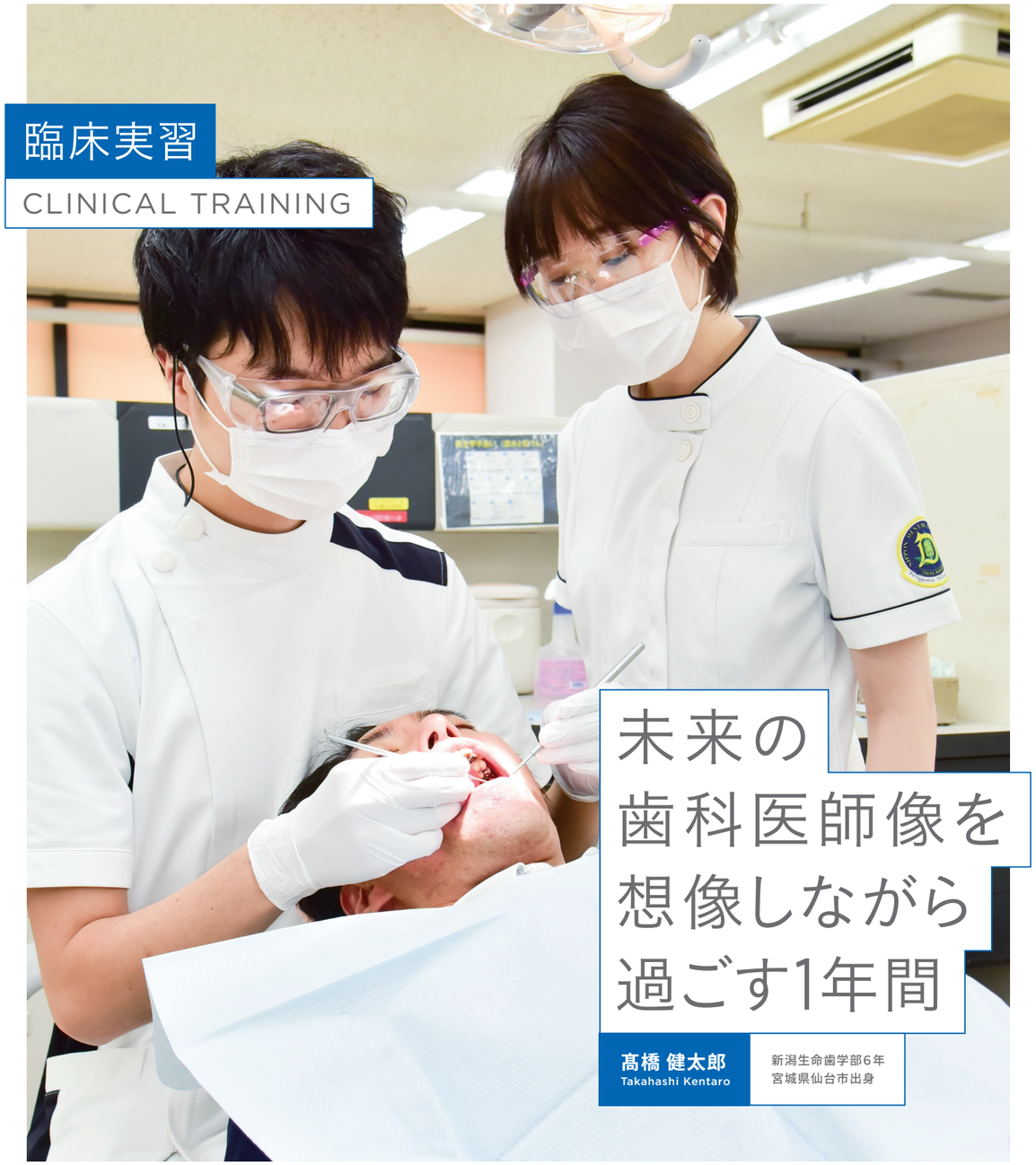
佐藤 聡 教授
Sato Soh
新潟生命歯学部
教務部長

地域医療に貢献できる歯科医師の育成

新潟生命歯学部は、本学の長い歴史の中で約半世紀にわたり地域の歯科医療に対応できる歯科医師の育成を行ってきました。現在の少子高齢化の中で求められる本学部での歯科医師の育成は、長い伝統で培われてきた本学の揺るぎない教育方針と、地域医療から学び、さらに実践できる恵まれた新潟の地によるものです。歯科医師になるためには、医療を行うために必要な知識と技能、さらに医療人としての態度が求められます。学生諸君には、歯科医師になるまでの６年間に習得する知識と技能を他律的､依存的な「教えられる」態度ではなく、大学生として学問に対して自律的、自立的に「学ぶ」姿勢で日々研鑽を積むことを希望します。

さらに本学は、日本屈指の伝統校です。本学の卒業生を目指す学生諸君は、常に姿勢を正し、言葉使いに気を配り、清潔感のある身だしなみを心掛けるとともに、時間に余裕を持った行動と、人のためを考え、常に人から見られている事を意識する行動を心がけ、品格の備わった歯科医師を目指すことを希望します。歯科医師になるまでの６年の過程は、学生諸君にとって一生を左右する重要な時期です。医療人として品格の備わった歯科医師となれるよう我々もサポートしていきます。

臨床実習
CLINICAL TRAINING



未来の歯科医師像を想像しながら過ごす1年間

髙橋 健太郎
Takahashi Kentaro

新潟生命歯学部6年
宮城県仙台市出身

第５学年になると同じキャンパスにある大学病院で臨床実習が始まります。

４学年までの実習では模型を用いて勉強してきましたが、臨床実習では直接患者さんを診療します。模型を用いた実習で学んだことや講義を通して学んださまざまな知識を総合して考え、治療を行うので緊張感を持ちながらより理解を深めることができます。

病院内では、訪問歯科診療やインプラント治療、また、歯科だけでなく内科や外科、耳鼻咽喉科を見学する機会もあるため、これからの歯科治療について自分で考える良い機会にもなりました。

臨床実習を通して日々医療現場の空気を感じ、歯科についての理解を深めていくことで、この先自分が卒業したらどのような歯科医師になりたいのか、どのような診療を行なっていきたいのかを考えることができます。臨床実習のある第５学年は、とても貴重な１年間を過ごすことができます。

５学年に進級すると、実際の病院で臨床実習がはじまります。歯科医師への道も、いよいよ見えてきます。

新潟病院では、総合診療科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科、歯科麻酔・全身管理科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、ローテーション方式でそれぞれの科で、実際の検査や治療を通じて、患者の立場に立った医療人としての知識・態度、そしてそれに応じた技能を習得させるよう努め、臨床実習の効果をあげています。

医科病院では、診療科として内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔と全身とのかかわりを意識した実習を通して、総合的で実効的な実習として教育効果をあげています。これも、本学ならではの大きな特色です。

総合診療科での実習

右のQRコードを
読み取って
動画をCHECK!

外科手術見学

口腔外科手術見学

新潟・東京両生命歯学部で交換実習

新潟、東京の両生命歯学部の臨床実習生（第５学年）を、それぞれの病院の特徴的な診療科へ派遣し、実習を行う交換実習があります。新潟病院では、訪問歯科口腔ケア科を中心に実習が行われ、東京では小金井市にある口腔リハビリテーション多摩クリニックにおいて、外来の嚥下造影検査や構音機能訓練などを見学します。

口腔リハビリテーション多摩クリニックは東京都小金井市にある、赤ちゃんからお年寄りまですべての年代の摂食嚥下障害、言語障害のある患者さんを対象とした、日本で唯一の口腔リハビリテーションに特化した歯科診療施設です。

新潟と東京両学部の親交も深まり、参加した学生のあいだでは大変好評な実習となっています。

口腔リハビリテーション多摩クリニック

多摩クリニックで診察室の見学をする新潟の学生

医科臨床系教授

大越 章吾　内科学［医学博士］
大竹 雅広　外科学［博士（医学）］
五十嵐 文雄　耳鼻咽喉科学［医学博士］

診療科教授

宇野 清博　総合診療科［歯学博士］
江面 晃　総合診療科［歯学博士］
黒川 裕臣　総合診療科［歯学博士］
山口 晃　口腔外科［歯学博士］
河野 正己　口腔外科［歯学博士］
戸谷 収二　口腔外科［博士（歯学）］
大橋 誠　歯科麻酔・全身管理科［博士（歯学）］
廣安 一彦　口腔インプラント科［博士（歯学）］

在宅ケア新潟クリニック教授

寺田 員人　［歯学博士］

学生部長からのメッセージ MESSAGE

小松﨑 明教授
Komatsuzaki Akira

新潟生命歯学部
学生部長

手厚い学生支援があなたをサポート

本学の長い歴史の中で、互いに切磋琢磨し、新時代を切り開こうとする学生気質は磨かれてきました。長寿社会を迎え、次世代に求められる幅広いスキルを身につけ、歯科医師としての使命を果たせるように、学生諸君には勇気と自信を持って未来へと船出してほしいと思います。

歯科医師となるまでの道のりは、楽なものではありませんが、クラブ活動や実習等を通し、強い絆で結ばれた同級生や先輩・後輩は、あなたの応援者として一生の宝となることでしょう。また、多数の姉妹校との国際交流から、外国の友人を作り視野を世界に広げることも可能です。学生部では、学習の障害となる要因を可及的に除去し、精神面を含めた重層的な学生支援を実施しています。

「人」を育む教育に必要な環境の整備に、本学は努力を惜しみません。学生の個性を尊重し、その力を最大限に引き出す本学で、あなたの夢を実現してみませんか。

新潟病院

全身麻酔による口腔外科手術

医療連携を推進し、地域歯科医療に貢献

新潟病院は、歯・顎・口腔の総合医療施設として、総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科、矯正歯科、小児歯科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、入院治療のための病床42床をはじめ、全身麻酔可能な中央手術室、CT、CBCT、MRI、RI、Linac放射線治療装置などの高度高額医療施設を設備しています。

さらに診療センターとして障害児・者、睡眠歯科、口腔ケア機能管理を有し、特殊外来として白い歯、特殊歯周病治療、スポーツ歯科、いき息さわやか、あごの関節・歯ぎしり、口のかわき治療、歯科アレルギー治療、歯科鎮静リラックス、顎のかたち・咬み合わせ、歯の細胞バンク、MRONJ外来があり、多様化する高度専門歯科医療に対応しています。また、地域歯科診療支援病院として、歯科の三次医療機能に加え、地域の医療機関や福祉施設との連携を強化し、積極的に地域の多職種連携医療、在宅歯科医療を推進しています。

総合診療科

小児歯科

インプラント手術

病院長からのメッセージ

MESSAGE

将来の歯科医師人生を占う病院実習

山口　晃 教授　新潟病院病院長
Yamaguchi Akira　口腔外科

第５学年次の４月から、新潟病院における臨床実習が始まります。

この実習は、それまでの模型を用いたシミュレーションと異なり、実際に患者さんの診療に参加して実体験する実習です。そのためには、第４学年末にある全国統一の共用試験をクリアし、患者診療を行うことができる知識、技能、そして態度を備えていることが最低条件です。臨床実習で患者さんから学ぶべきことは、限りなく多く、そして深いものがあります。

しかし、一方で、それは学ぶ側の心持ち１つで大きく変わります。常に、患者さんの苦しみや訴えに耳を傾け、最善の治療ができるように勉強し、技術を磨く。そうした準備の下での実習と、ただそこにいるだけの実習では雲泥の差があります。まさに、実習の成果は自分自身にかかっています。そして、それは実際に歯科医師になった後の諸君の人生を予言しているのです。

医療にこれでいいというゴールはありません。生涯勉強、生涯研修の歯科医師人生のスタートラインに立つための、とても大変ですがとても魅力的な実習が病院実習です。

医科病院

医科病院手術室

生命歯学の実践

医科病院は昭和55年、日本歯科大学新潟歯学部の歯科医師医育機関として開設され、診療科は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、入院治療のための病床50床が設置されています。MRI、CTなどの診断装置を駆使し、内科、外科では肝、胆、膵疾患ならびに消化器系を中心とした、また耳鼻咽喉科では高度難聴の施設基準を満たし、高度な医療を提供しています。日本歯科大学新潟生命歯学部では、歯科医学と医学の融合を図るため、一般医学の講義に加え、医科病院における医科研修を行っており、ほかの歯科大学には見られない大きな特色となっています。

耳鼻咽喉科診療

内科回診

中野 葉月
Nakano Hazuki
新潟生命歯学部6年
新潟県上越市出身

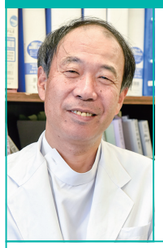
医療人としてより広い視野を持つことができる貴重な実習

医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科、検査科、薬剤科での見学や実習を行います。内科では内視鏡検査や耳鼻咽喉科で手術を見学し、外科では終末期医療のお話を聞き、実際に患者さんと触れあいました。検査科では、臨床検査技師さんから歯科でも行う血液検査や生化学検査などがどのような仕組みで行われているのかを学びました。薬剤科では薬の管理方法や患者さんへのお薬の提供の仕方まで実際に体験しました。

歯科というと、口腔内だけという印象がありましたが、実習を行い、歯科を通して患者さんの生活の質の向上を目指すには、患者さんの全身状態を把握することが大切であり、そのためには全身疾患をより深く理解していく必要があるのだと強く感じました。より良い治療を提供できる歯科医師を目指すためには、医療人としてより広い視野をもつことが大切だと思います。そのような体験のできるこの医科病院の実習では大変貴重な時間を過ごすことができます。

病院長からのメッセージ

MESSAGE



全身を学ぶ

大越 章吾 教授　医科病院病院長
Okoshi Shogo　内科学講座

新潟生命歯学部は本格的な医科病院を併設する、全国的に見ても非常に貴重な歯科大学です。近年、歯周病と糖尿病や認知症、嚥下及び摂食の全身管理における重要性の認識に代表されるように、歯科医学を全身疾患の一部として捉える考え方が浸透してきており、その意味で以前から医科病院が存在することは、日本歯科大学の先見の明を示しています。

医科病院は内科、外科、耳鼻科からなり、50床の入院病棟があります。５年生のカリキュラムには医科病院の臨床実習が組み込まれており、各科で診療の実際を経験することができます。内科では内視鏡などの検査の見学、外科、耳鼻咽喉科では手術の見学を通して実地医学を学ぶことができます。歯科医学の修得の中で全身疾患の理解は必須のものであり、医科病院との関わりを通じて常にUp-to-dateに学ぶことが可能です。

高齢化社会を迎え、多くの合併症を有する患者さんの歯科治療を行う機会が増えています。医科病院での臨床実習は、全身状態を考慮に入れて、安全で的確な治療を行うことができる歯科医師としての基礎を学ぶ絶好の場といえます。

新潟病院 訪問歯科口腔ケア科

地域に密着し「健やかに生きる」を支える歯科医師へ

学生も先生の指導のもと患者さんの口腔ケアを行う

求められる地域に密着した在宅歯科医療

現在、わが国では急速に少子高齢化が進行しており、国民の医療や介護の需要がますます増加することが見込まれて社会問題になっています。

そこで、国の施策として、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。

これに応じて歯科界でも、地域ぐるみで要介護者のための在宅歯科医療の充実と、医療・介護との連携強化が求められています。そのため、地域で働く歯科医師にとって、訪問歯科診療と訪問口腔ケアの知識と技術の習得は必須のものになっていくでしょう。

出発前の打ち合わせ

往診器具を積み込み、病院を出発

診察後カルテを整理

佐藤 史野
Sato Shino

新潟生命歯学部6年
宮城県柴田町出身

医療チームの一員として訪問歯科診療に参画

臨床実習を行う中で訪問歯科診療の現場に参加することができました。

訪問先は特別養護老人ホームに入所して通院が困難な方、障害や全身疾患をもちながら療養している方の自宅などさまざまありました。

病院での治療と異なり、少ない治療器材で処置を行いながら患者さんの全身状態にも気を配るのはとても大変だと感じ、治療を円滑に行うために介護士さんや介護しているご家族とのコミュニケーションをしっかり取ることが重要だと思いました。

高齢化が進んでいく中で訪問歯科診療のみならず、病院で治療する時にも全身疾患を持つ患者さんの治療を行う機会が今後より増えてくると思います。

口腔機能は、人がその人らしく生きていくために欠かせない機能であり、生涯に渡るQOL（生活の質）の維持、向上に深く関わるので、在宅医療の患者さんにも食事や会話の楽しみを少しでも多く感じることができるように手助けができる歯科医師を目指していきたいと思います。

「地域」と「連携」をキーワードに

新潟病院では、昭和62年9月に在宅歯科往診ケアチームを全国歯科大学に先駆けて設置しました。その後30年以上にわたり、地域の要介護高齢者や障害者の訪問歯科診療や口腔ケアに従事し、多くの社会福祉施設において無料歯科検診を行うなど、地域歯科保健医療に寄与してきました。

そして、この長年にわたる経験は、平成16年の新潟県中越地震、同19年の中越沖地震、さらに平成23年の東日本大震災などの大規模災害時に、被災地に赴き、被災者への応急歯科診療と口腔ケアを行うなど多方面に役立っています。このような種々の活動は、第60回新潟日報文化賞や第63回保健文化賞を受賞するなど、高く評価されています。

チームは、平成26年４月から訪問歯科口腔ケア科として、専従歯科医師４名、専任歯科衛生士４名、専任看護師１名を中心に診療体制を強化しました。地域歯科医療支援室と連動して、地域の医療や介護分野など他職種や歯科医師会と連携を強め、地域における在宅歯科医療の後方支援を担いながら、医療・介護と歯科医療を繋ぐ役割を果たすことが期待されています。

高齢者施設での診療

中越地震避難所での診療

他職種と連携できる歯科医師を養成

現在、他職種と連携し、口腔と全身を診ることができる歯科医師の育成が求められています。歯科医師も全身の健康を支える医療チームの一員として、在宅医療や介護をはじめさまざまな職種に関わり、共に支えていく新時代に突入しているのです。

そこで新潟病院では、第5学年次の臨床実習において訪問歯科診療を必修化し、臨床実習生が、実際に医療、介護従事者が集まり在宅療養患者のために開催される退院時カンファレンスに参加するなど、地域医療の現場で、連携の重要性を学んでいます。

東日本大震災避難所での診察

在宅ケア新潟クリニック

急速な高齢化が進むわが国において、在宅歯科医療の需要は年々増加傾向にあります。在宅歯科医療に30年以上前から取り組んでいる本学は、2018年に新たな取り組みとして、新潟県三条市に在宅歯科医療専門の歯科診療所「在宅ケア新潟クリニック」を開設しました。

在宅歯科医療は、歯科が単独で完遂できるものではなく、さまざまな分野の専門家と協働して一人の患者さんを包括的に支援していく必要があります。当クリニックは、こうした多職種連携を強化し、口腔のスペシャリストとして食支援、口腔ケア、口腔リハビリテーションに取り組んでいます。

クリニック内には、歯科ユニットが1台も存在せず、使用した器具機材の消毒コーナーのほか、多職種が集まりカンファレンスを開催したり、研修会を行うためのミーティングスペースが設置されています。本学の学生も一緒に参加し、訪問歯科診療のノウハウだけでなく、在宅医療における地域連携の重要性を学ぶ場として大きな役割を担っています。また、将来の歯科医院の新しい形を学生に示す、有益なモデルケースであり、本学の在宅歯科教育において、重要な拠点となっています。

最新の設備を誇る教育環境

マルチメディア臨床基礎実習室

稲辺 勝登
Inabe Katsuto
新潟生命歯学部5年
新潟県新潟市出身

学習のモチベーションアップにつながる実習室

第4学年になると臨床系科目の実習が本格的に始まり、第5学年の病院臨床実習へ向けて毎日使用する実習室がマルチメディア臨床基礎実習室です。

個別にデスクが与えられ、そこにはタービンやエンジンなど、歯科治療に必要な道具が備わっています。ファントームと呼ばれる模擬患者のマネキンを使用して実習を行います。

実習中は先生方が常時巡回してくださり、個々に基本的な動作からちょっとしたコツ、テクニックまでも丁寧にご指導くださいます。

実際に臨床で使用される治療用歯科ユニットも複数設置されており、対人での実習も行われています。座学と並行した実習カリキュラムが組まれており、講義で学んだ知識を実習でさらに深め、効率良く学ぶことができます。

毎日の実習が歯科学生ということを強く実感させ、網羅的な知識、技能の習得へのモチベーションアップにつながります。

ITセンター

右のQRコードを読み取って動画をCHECK!

▲ パーテーションを一時撤去することで、1学年全員がパソコンを使用した授業を行えます。

◀ 指静脈登録によりITセンターに入室します。

マルチメディア臨床基礎実習室

1号館2階には、最新のIT機器を設置した、今までに例を見ない最新のシステムをそなえた、多機能の「マルチメディア臨床基礎実習室」があります。この実習室では、Windows PCを搭載した実習机120台と治療用歯科ユニット12台、フットペダル式水洗ユニット12台、IT示説室をそなえています。

技工作業コーナーも充実しており、石膏操作、鋳造、流鑞(りゅうろう)作業、X線デジタル撮影もでき、実習時間外には学生技工コーナーで課題を行うことができます。

実習机には最新式歯科治療機器と口腔内カメラ、乾湿サクション装置、マネキンが装備されており、技工作業と臨床手技シミュレーション作業が実施できます。

ITセンター

ITセンターはキャンパス内の2号館2階にあり、IT教室1には情報科学の実習に使用されるWindows PC56台、IT教室2には学生が自由に使用できるPC48台が常設してあります。特にIT教室2は、試験に関係した特別な期間を除いて、休日を含めて朝7時から夜11時まで使用可能で、指静脈登録を行った学生が自由に入室してコンピュータを使用することができます。IT教室1、2は、パーテーションを一時撤去することで104台のPCを同時使用できる環境にあり、コンピュータ試験なども実施しています。本学ではe-Learningにも力を注ぎ、CAIシステム*による国家試験問題も学生に好評です。

*CAIシステムは、サーバーに過去の歯科医師国家試験問題約6400問が記録されています。各問題の正答、選択肢解説が収録され、学生が問題を選んで学習したり、コンピュータが任意で選んだ問題で試験を受けるなどの機能を持つすぐれた自己学習ソフトです。

スマートフォンによる双方向対話型授業

スマートフォンによる学生支援システムを出欠席管理、情報配信、さらにソクラテス型(双方向対話型)授業に利用しています。出欠は授業の前後に、専用アプリから各自がタップすることで管理しています。

ソクラテス型授業は、講義中に提示した多肢選択問題の解答作業をスマートフォンで行い、教員がその解答状況をリアルタイムに知ることができます。

スマートフォンを使用した授業出席登録

ソクラテス型授業

解答結果はリアルタイムでデータベースに採取・採点・集計され、その結果は教員の手元のパソコンに表示されます。学生の理解度に応じた授業を、効果的に行っています。

下のQRコードを読み取って動画をCHECK!

国際交流

バンクーバーの空港でUBCの学生と

ブリティッシュ・コロンビア大学との連携

交換学生制度は1986年に始まり、ブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）、ワシントン大学（UW）とは34年間継続しています。本学の学生が姉妹校のUBC（カナダ）とUW（米国）を訪問し、研修と親睦を図る本学独自の教育システムです。

相互訪問は毎年、本学の学生は3月に、UBCの学生は7月に行われます。

UBCの病院見学

新潟弥彦山にて

ブリティッシュ・コロンビア大学　The University of British Columbia

カナダの西部、バンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学は、1908年に創立され、UBCの略称で親しまれています。歯学だけでなく、医学、薬学、法学、文学、理学などさまざまな学部を有する総合大学で、５万人以上の学生が学んでいます。留学生も積極的に受け入れており、世界約150ヵ国からたくさんの留学生が集まっています。

UBC・UW交換留学生　MESSAGE

内村 友彦
Uchimura Tomohiko
新潟生命歯学部6年
宮崎県日南市出身

自身の見識を大幅に広める短期留学

約2週間の日程で、アメリカのワシントン大学（UW）とカナダのブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）に短期留学しました。

前半４日間はシアトルにあるUWで過ごしました。UWでは歯学部や病院、そして広大なキャンパスを見学しました。その後バンクーバーに移動しUBCを訪ねました。UBC滞在中はバディと呼ばれる私たち訪問学生をお世話してくれる学生さんの家にホームステイさせていただき、このおかげで親睦をより深めることができました。

UBCでは、歯内治療学や歯科放射線学の授業を受講しました。印象的だったのは、疑問があれば講義中でもその時点で学生が質問し、そのつど疑問点を解消しながら進行していた点です。また、病院も見学し、そこでは学生が基本的に準備から治療までを一人で行っていたことも印象に残っています。

今回の短期留学は、素晴らしい仲間との出会いもあり、自身の見識を広めることにつながりました。国際色豊かな医療人になりたいという思いがより一層強くなった大変有意義な経験でした。

ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）とマンチェスター大学（英国）からの訪問学生

中山医学大学（台湾）からの訪問学生

国際色豊かな広い視野を育てます

高度情報化社会の現代では、グローバルな国際的交流の重要性の認識が改めて必要となります。

本学では、こうした国際化にともなうコミュニケーションを推進するため、インターネットなどのインフラはもとより、直接海外の研究者との交流を積極的に進めています。

特に、若手の教員・研究者を対象として、研究者同志のつながりや融和を大切にした国際学術交流の一助として、国際学会への出席や留学といった面で支援しています。また、タイのマヒドン大学の訪問学生や、台湾の中山医学大学、中国の四川大学華西口腔医学院などとの学生相互訪問なども活発に行われています。

ワシントン大学（米国）の病院見学

マンチェスター大学での病院見学

中山医学大学にて

四川大学華西口腔医学院（中国）にて

マンチェスター大学交換留学生　MESSAGE

小山 瑶生
Koyama Tamaki
新潟生命歯学部6年
埼玉県新座市出身

充実した研修プログラム

昨年６月末から２週間、イギリスのマンチェスター大学に短期留学させていただきました。マンチェスター大学での研修プログラムは、ボストン大学の歯学部５年生と共に過ごしました。

講義やコミュニケーションを取るときはもちろん英語なので、日本との保険制度や国民性の違いなどを説明するときに、話したいことと話せる英語とのギャップがあったことがもどかしかったです。

マンチェスター大学の病院見学では、インプラント、障害者歯科、保存、小児科、歯内、補綴の診療室を回りました。マイクロスコープなどを学生が実際に使用して診療していたことが印象的でした。また、歯科材料や治療方法などが日本と違う点を見つけることも楽しかったです。

マンチェスター大学は大学自体が大きく、大学周辺一帯が学園都市になっていて、音楽、芸術、学問など多様な専門分野に触れられてとても魅力的でした。休日には、ロンドンやリバプール、チェスターなどの観光もでき、とても充実した研修期間を過ごすことができました。

大学院
新潟生命歯学研究科

GRADUATE SCHOOL
AT NIIGATA

専門的な知識や技術を吸収し未来の歯科医療を担う

佐藤 柚香里
Sato Yukari

新潟生命歯学研究科
歯周機能治療学
新潟県加茂市出身

将来どんな歯科医師になりたいか、歯科医師を目指す者なら誰しも一度は考えたことがあるのではないでしょうか。

私が大学院の進学を考え始めたのは、臨床研修歯科医の時でした。実際に患者さんと接していく中で、より一層専門的な知識や技術を習得したいと思い大学院へ進学しようと決めました。

歯科にはさまざまな分野がありますが、私はその中でも特に歯周病学に興味を持ち、歯周機能治療学を専攻しました。大学院では、専門家の先生方からのご指導のもと、さまざまな研究に携わることができます。また、研究だけでなく、診療科に出て臨床経験を積むこともでき、認定医や専門医の取得も目指すことができます。

現在は、教授をはじめ、諸先生方にたくさんのことを教えていただきながら充実した大学院生生活を送っています。皆さんも大学院でより専門的な知識や技術を習得できる４年間を過ごしてみませんか。

新潟生命歯学研究科では、歯科医学に関する学術の理論とその応用について教授し、歯科医学の発展に寄与できる研究者としての高度な専門的知識を習得するとともに、自立して研究活動を行い、研究機関のみならず地域医療、産業界など社会の多方面においても専門業務に従事できる幅広い研究能力を養うことを目的としています。

専攻主科目は基礎科学系（顎口腔形態学、顎口腔機能学、顎口腔感染環境保健学）、応用科学系（顎口腔材料咬合学、顎口腔病態診断学、顎口腔生体反応学）、臨床科学系（硬組織歯周治療学、顎口腔成長発達学、顎口腔全身病学）の３つから構成され、従来の既成概念にとらわれない特色ある研究指導体制がとられています。

機能性咬合治療学ゼミ

口腔環境保健学ゼミ

全身関連臨床検査学ゼミ

専攻・専攻主科目

基礎科学系	顎口腔形態学	硬組織粘膜比較形態学
		形態分析化学
	顎口腔機能学	咀嚼分泌神経学
		唾液唾液腺機能学
	顎口腔感染環境保健学	口腔感染免疫学
		口腔環境保健学
応用科学系	顎口腔材料咬合学	口腔材料開発工学
		機能性咬合治療学
	顎口腔病態診断学	放射線定量診断学
		病態組織機構学
	顎口腔生体反応学	硬組織唾液腺薬物反応学
		口腔全身機能管理学
臨床科学系	硬組織歯周治療学	硬組織機能治療学
		歯周機能治療学
	顎口腔成長発達学	小児口腔行動科学
		咬合形態機能矯正学
	顎口腔全身病学	顎口腔全身関連治療学
		全身関連臨床検査学

在学生からのメッセージ MESSAGE

城井 友幸
Kii Tomoyuki

新潟生命歯学研究科
顎口腔全身関連治療学
山形県鶴岡市出身

より専門性の高い歯科医師に

歯科にはさまざまな専門分野があり、皆さんも、歯科医師臨床研修が修了すると、将来、自分がどのような歯科医師になりたいのか考えると思います。

私は、学生時代から興味のあった口腔外科について深く学びたいと考えていました。口腔外科では、口や顎に関する、外傷、感染症、腫瘍、がんの治療等を行います。私は、口腔外科分野である顎口腔全身関連治療学を専攻し、大学院へ進学しました。

本講座では、教授をはじめ、諸先生方のご指導のもと、診療と研究を両立し、認定医や専門医・学位の取得を目標として多くのことを学ぶことができます。私は、口腔外科の分野の中でも口腔がんの治療に興味があり、現在は、抗がん剤に関する研究を行っています。基礎研究を行い、臨床応用することで、少しでも歯科医療に貢献できるよう努めています。

歯科医師にとって基礎研究を行い、専門分野について深く学ぶことは、貴重な経験であり、自信につながると思います。皆さんも、専門性の高い歯科医師を目指して、一緒に大学院で学びましょう。

世界に発信する学術研究

先端研究センター

先端研究センターは新潟生命歯学部キャンパスの6号館にあります。研究プロジェクトは主に軟組織疾患を対象とした「口腔疾患の診断と治療における分子生物学的アプローチ」と、硬組織を対象とした「口腔内生体材料における高機能素材の開発とその臨床応用」という2つから構成されています。

研究チームは5~6つのワークグループから構成され、それぞれにコーディネーターがつき、54名の研究者がそのコーディネーターのもとで研究を分担しています。

いずれの研究も、先端的な業績をあげている他大学や民間機関、民間企業とも連携し、多方面の技術協力や共同研究によって進められています。

リアルタイムPCR

電子プローブ・マイクロアナライザー

マイクロフォーカスX線CT

ナノドロップ

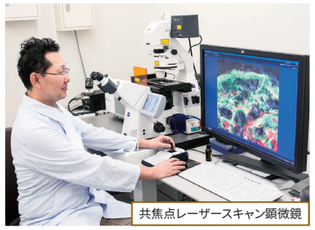
X線光電子分光装置

学術誌 Odontology

日本歯科大学歯学会発行の「Odontology」は、国際的な研究成果発表を目標として、「歯学」を継承し2001年に創刊された国連科学誌で、2017年から年4号発刊されています。2003年にはアメリカ国立医学図書館のデータベースMedlineに収載され、国際学術雑誌として認知されました。その後、世界で最も権威のある学術文献データベースWeb of Scienceに収載され、2009年6月には、インパクトファクター（IF）*を獲得しました。さらに、2012年6月には 5-Year IF も付与されました。

歯科医学・口腔外科学分野で2019年6月現在、このIFを付与されている学術誌は、世界中で91誌、日本関係ではわずか5誌しかありません。「Odontology」のIFは1.813（2018年）、1.724（5-Year IF）が付与されており、歯科医学雑誌のなかで高い評価を得ています。

*IF（インパクト・ファクター）とは ある学術誌に掲載された1論文が、一流の国際誌に平均どれくらい引用されたかを示す指標であり、国際誌の影響度を表す値として使われています。


共焦点レーザースキャン顕微鏡

先端研究センター教授　仲村 健二郎［歯学博士］　中 原　賢［博士（医学）］

研究成果を世界へ発信

五十嵐 健輔講師 Igarashi Kensuke　新潟生命歯学部 歯科理工学講座

我々歯科医師が行っている歯科治療は、基礎研究の成果が土台となり成り立っています。基礎研究とは、治療を行う上で使用する材料や器具の安全性や強度が人体にとって十分であるか、そして、薬剤が生体にどのような影響を与えているかなどを実験を通じて明らかにすることです。

先端研究センターにはさまざまな研究機器がそろっており、歯科材料の元素分析や細胞培養を用いた分子レベルの研究、細菌の動態など幅広い基礎研究を行うことが可能です。これらの基礎研究から得た結果を英語論文にまとめることで、国内のみならず、海外へ研究成果を発信することができ、世界的に基本となる治療の根拠を導き出しています。

基礎研究は、我々大学教員が行うべき重要な任務であると考えています。私も臨床に直結する研究を行っていることを自負し、やりがいをもって研究活動に取り組んでいます。

A VIEW TO THE FUTURE

歯科医学は日進月歩。近年の歯科医学は目覚ましい発展を続けています。
そんな発展の一翼を担っている、歯科界のフロントランナーとして
未来へ歩みを続ける本学の最新のトピックスをご紹介します。

訪問歯科診療は新たなステージへまた一つ、全国初が誕生

今から約30年前、「歯医者の訪問診療」などと誰もが考えもしなかった時代から、本学は在宅往診ケアチーム（現在の訪問歯科口腔ケア科）による訪問歯科診療を行ってきました。全国にある29の歯科大学・歯学部としては、はじめての試みでした。

そして昨年の4月、新潟県三条市に外来患者を受けない訪問診療専門のクリニック、日本歯科大学在宅ケア新潟クリニックを開設しました。これもまた、全国でははじめての試みです。

このクリニックは、いわゆる、歯科治療用椅子のない、事務所・ミーティングルーム、滅菌消毒設備のみを備える歯科診療所です。外来の患者さんを診療する設備はありません。これからの更なる高齢者人口増加と寝たきり老人増加を見通すと、近い将来、このような新しい形態の開業スタイルが必要になると考えます。

本学は、世界でも類を見ない超高齢社会の中で、訪問歯科医療や口腔ケアの施行、医師・看護師・薬剤師・介護関係者等との多職種連携が必須である地域包括ケアシステムに対応できる次世代の歯科医師の育成に真剣に取り組んでいます。

新潟病院「MRONJ外来」開設

2003年に初めて医薬品「ビスホスホネート」の使用による副作用に関連する顎骨壊死（BRONJ）が発表されました。未だに発症に至るメカニズムに関するエビデンスは乏しく治療ガイドラインは日々更新されています。

2014年には、米国口腔顎顔面外科学会が改訂した方針書において、血管新生阻害薬によって発症した顎骨壊死の報告も包含され、薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）と病名が変更されました。

日本口腔外科学会が行った患者の全国実態調査では、2006年からの3年間と2011年からの3年間では約18倍と増加しており、今後も増加することが予想されています。

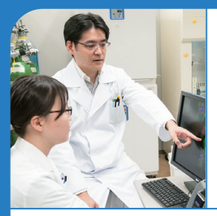
そこで、2017年7月1日より専門外来として新潟病院にMRONJ外来を開設しました。この外来では、それぞれの患者さんの状態にあわせて最適な時期に外科的治療を早期から適応することと、外科的治療の際に薬剤の休薬をしないことを特徴としています。

新潟病院「歯の細胞バンク外来」開設

「歯の細胞バンク」は、患者福祉の一環として2015年4月に大学が主導する細胞バンクとしてはわが国初の施設として誕生しました。

新潟病院では2017年9月1日に患者さん自身の細胞を患者さんへ供給する“バイオ再生医療”のベース基地の一つとして「歯の細胞バンク外来」を開設しました。

基本的には、生命歯学部に設立された「歯の細胞バンク」へバンク登録を希望する患者の抜去歯（細胞）を提供できる体制づくりを目的としています。そのため、「歯の細胞バンク外来」では、新潟病院内や周辺地域の開業歯科からのバンク登録を希望する患者の受け入れを行い、円滑に抜去歯（細胞）を本バンクへ発送します。また、困難抜歯が予想される場合や鎮静法下での抜歯を希望される方の受け入れなども行います。



歯の幹細胞で再生医療へ

日本歯科大学副学長 中原 貴教授 Nakahara Taka　日本歯科大学 生命歯学研究科 発生・再生医科学講座

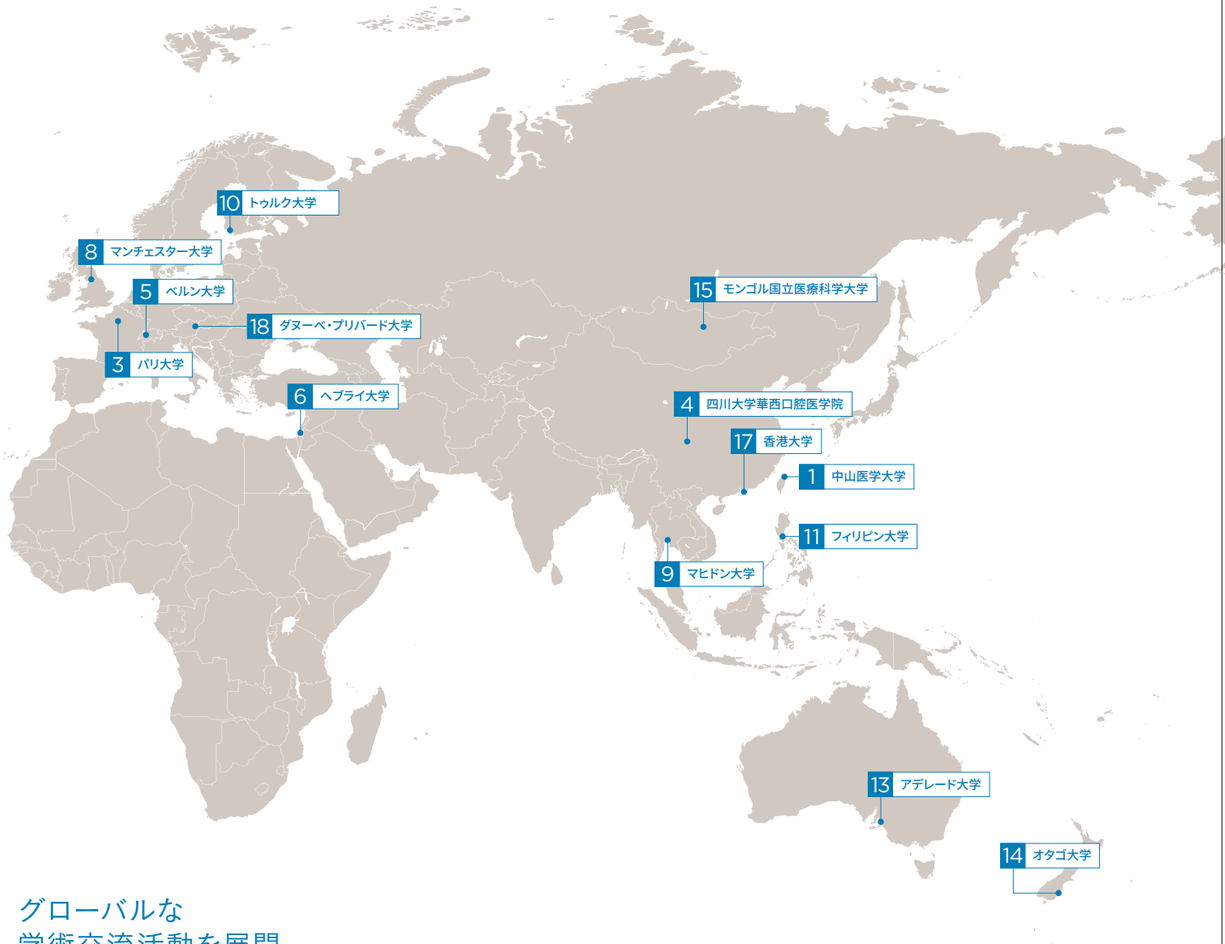
むし歯を削ってモノを詰める、歯が抜けたらモノで補う。これらのモノ、すなわち歯科材料に支えられてきたのが、従来の歯科医療です。一方、“細胞”を活用した新たな医療、それが再生医療です。とくに“幹細胞”とよばれる魅力的な細胞は、失われた組織のカタチや働きを元通りに治せる再生医療には必須の細胞です。

私たち歯科医師は、治療の一環として乳歯や親知らずを抜くことが多くあります。最近では、これらの抜いた歯にも幹細胞の存在が明らかとなり、再生医療に応用できる可能性が示されています。

本学の研究グループは、歯科医師に身近な歯の幹細胞を用いて、歯や口だけでなく、全身の病気を治す再生医療を目指しています。そして現在、歯の幹細胞の一つである“歯髄細胞”を将来の再生医療に活用するため、患者さんの歯髄細胞を凍結保存する「歯の細胞バンク」をスタートしました。

みなさんも本学の一員となり、歯の幹細胞で全身の病気を治す「生命歯学」を学び、歯科から発信する再生医療の息吹を感じてみませんか？

IUSOH International Union of Schools of Oral Health



グローバルな学術交流活動を展開

本学とミシガン大学歯学部で、1985年５月に「口腔保健のための国際姉妹校連合」(International Union of Schools of Oral Health 略称 IUSOH)を結成しました。この活動は両大学を軸として、世界各国の主要な歯科大学をリングで連携し、１校単位の姉妹校関係ではできない、国際的な学術交流活動を展開しようというグローバルな構想です。本学の姉妹校は現在世界16ヵ国18校の歯科大学にのぼっています。1985年より本学新潟生命歯学部、ミシガン大学、本学生命歯学部、マンチェスター大学において「国際歯学研修会」が開催されています。

IUSOH ニューズレター

オーストラリア、ブリスベンでのIUSOH代表会議

カナダ、トロントでのIUSOH交歓会

スペイン、バルセロナでのIUSOH代表会議

日本歯科大学国際姉妹校・協定校(提携順)

No.	校　章	提携年／大学名／所在地
1		1971年 中山医学大学 台中市(台湾)
2		1984年 ミシガン大学 アンナーバー(アメリカ)
3		1985年 パリ第７大学 パリ(フランス)
4		1985年 四川大学 華西口腔医学院 四川省成都(中国)
5		1986年 ベルン大学 ベルン(スイス)
6		1986年 ヘブライ大学 エルサレム(イスラエル)
7		1987年 ブリティッシュ・コロンビア大学 バンクーバー(カナダ)
8		1987年 マンチェスター大学 マンチェスター(イギリス)
9		1988年 マヒドン大学 バンコク(タイ)
10		1991年 トゥルク大学 トゥルク(フィンランド)
11		1992年 フィリピン大学 マニラ(フィリピン)
12	PENN	1993年 ペンシルバニア大学 フィラデルフィア(アメリカ)
13		1997年 アデレード大学 アデレード(オーストラリア)
14		1997年 オタゴ大学 ダニーデン(ニュージーランド)
15		2005年 モンゴル国立医療科学大学 ウランバートル(モンゴル)
16		2006年 メリーランド大学 ボルチモア(アメリカ)
17		2012年 香港大学 香港(中国)
18		2015年 ダヌーベ・プリバード大学 クレムス(オーストリア)

姉妹校・提携校への留学

MESSAGE

竹澤 晴香講師
Takezawa Haruka
日本歯科大学
生化学講座

グローバルな視点を持って

アデレード大学の同僚と

2018年から2年間、オーストラリアのアデレード大学外科学講座に留学させていただきました。アデレード市内から10km程離れたウッドビルという街に、国立クイーンエリザベス病院附属バジルヘッツェル研究所があり、この研究所内にアデレード大学外科学講座の教室があります。バジルヘッツェル研究所は、病院附属という環境を生かして臨床応用を目指した医学研究を行っています。研究分野は癌、心血管疾患、関節炎、糖尿病、呼吸器疾患、脳卒中と多岐にわたり、研究チームのメンバーはアデレード大学だけでなく南オーストラリア大学・フリンダース大学・クイーンエリザベス病院の研究員で構成されています。

私の研究テーマは癌の診断と治療です。専門性の高い機関での研究は、チームや研究所全体での多くのディスカッションを通して自分の研究内容を磨いていくことができ、非常に充実した有意義な２年間となりました。今後もアデレード大学とは共同研究を続けていくことで合意しているので、協力しながら研究をより人々の役に立つように発展させていきたいと思っています。

これからの時代、グローバルな視点が必要不可欠です。日本歯科大学はIUSOHを通じた国際交流支援が充実しています。高校生の皆さんにはぜひ、日本歯科大学に入学して国際交流の場で多くの経験を積んで欲しいと思います。きっとその貴重な経験は自分の価値観を根本から変えて、人生をより彩り豊かなものにしてくれるでしょう。

学生が主体となってカフェを運営

国内唯一の歯科大学併設の認知症カフェ

N-Café Angle
エヌ・カフェ・アングル

2018年12月、歯科大学併設として国内初となる認知症カフェN-Café Angleがオープンしました。認知症カフェは、認知症の方が自分らしさを発揮し、社会との関わりを持って過ごせる場であり、それを支えるご家族にも参加していただくことで、お互いの悩みを相談したり、情報交換をする場になります。さらに地域の方々にも参加していただくことで、認知症について理解してもらい、地域全体で認知症の方やそのご家族を支えていくことも目的の一つとしています。

開設以来、毎月1回程度定期的に開催しており、カフェの運営は本学学生が行い、歯科医師、歯科衛生士、看護師、管理栄養士などがサポートに加わっています。学生が主体となって、お菓子作りやフラワーアレジメント、アロマテラピー体験など毎回異なるイベントを企画しているほか、歯科大学ならではのイベントとして、お口の健康チェックやお口の健康ミニレクチャー、健康体操なども取り入れ、参加者の方々にお口の健康管理の重要性なども知っていただいております。

本学は歯科大学として、認知症の学生教育にも力を入れており、全学年に対し認知症サポーター講座を開催しています。近年では核家族化が進み、高齢者との同居経験のある学生が減少傾向にあり、実際の認知症高齢者との接点は病院実習に限定されているのが現状です。

学生が認知症カフェを通じ、認知症患者の方と接することで得られる学びは大きいものと考えています。さらにご家族や多職種の方とも交流することで、患者さんを支える家族の思いを知るとともに、地域で活躍されているさまざまな職種の方の業務内容の理解も深まることから、学生の参加は、認知症の歯学教育において重要だと考えています。

参加学生の声 MESSAGE

川名 葉子
Kawana Yoko

新潟生命歯学部4年
新潟県新潟市出身

認知症カフェで地域にも貢献

新潟キャンパスにオープンしたN-Café Angleは、学生が主体となって活動する認知症カフェです。開催は月一回で、講師の方をお呼びして認知症について学んだり、管理栄養士さんの手を借りて、お菓子作りをしたりとさまざまな企画を考え、参加者の皆さんと楽しく活動しています。

私が参加しようと思った理由は、地域の方々と交流する機会を持てることに魅力を感じたからです。実際に参加して、N-Caféに参加するうちに、高齢の方たちとお話しすることへの緊張がなくなり自然に楽しくお話しできるようになったと感じています。また、普段同世代の友人と会話する中では得られない知識を教えていただけるのが毎回のN-Caféでの楽しみとなっています。

認知症の方や多職種の方と交流できる機会は多くないので、この活動を将来に役立てていきたいと思っています。

CAMPUS LIFE

日歯新潟の1年間!!

4月、日本歯科大学新潟生命歯学部に入学すると大きな学校行事が続きます。まずは、新入生オリエンテーション合宿。これから6年間学び合う友と親睦を深めます。5月の連休には生命歯学部との合同合宿。6月の浜浦祭では、先輩、後輩の垣根を越えて学生全員で学園祭を盛り上げます。クラブ活動や、志を同じくする仲間とともに、あなたのキャンパスライフを創ってください。

- 4月
- 5月 入学式 新入生オリエンテーション合宿 富士見・浜浦フェスタ クラブ活動週間（合同合宿）
- 6月 クラブ活動週間（合同合宿）
- 7月 創立記念日 健康診断 浜浦祭
- 8月 夏期休暇
- 9月 夏期休暇 歯学部学生総合体育大会（歯学体）
- 10月 前学期定期試験
- 11月 後学期授業開始
- 12月
- 1月 冬期休暇
- 2月 冬期休暇
- 3月 後学期定期試験 歯科医師国家試験
- 卒業式

一木 昌司
Ichiki Masashi

学生委員会委員長
新潟生命歯学部4年
佐賀県鳥栖市出身

夢に向かって走り出そう!

学生委員会は、第1学年から第5学年まですべての学年を交え楽しく活動しています。歯科医師を目指し仲間と過ごす6年の間に、多くの出来事が起こるでしょう。この長い日々のなかでみなさんにとって良い思い出ができるよう、さまざまなイベントを準備、企画し、学生みんなで盛り上げていきます。そして、多くの活動を通じて得た友人や先生方との絆や繋がりは、かけがえのない大切なものとなって、多くの場面で私達を強く後押ししてくれます。

みなさんのキャンパスライフが充実したものとなるように、私たち学生委員会がサポートしていきますので、ともにここ新潟で夢に向かって走り出しましょう。みなさんと一緒に学び、笑いあうことができる日を楽しみにしています。

クラブ活動

日本歯科大学新潟生命歯学部のクラブ活動は、体育会系、文化会系、
学術会系に分かれ、体育会系は全国の歯科大学が集う全日本歯科学生
総合体育大会（歯学体）などの大会で競い合います。
また、文化会系や学術会系は、浜浦祭での発表の機会があります。

サッカー部

バレーボール部

陸上部

硬式庭球部

運動するのに最適な環境です

新妻 智憲
Niitsuma Tomonori
陸上部主将
新潟生命歯学部4年
群馬県前橋市出身

陸上競技部には現在男子11名、女子７名の総勢18名が所属しており、毎年８月に開催される全日本歯科学生総合体育大会（デンタル）に向けて週に２回活動しています。陸上競技場を練習拠点とし、その他、体育館やグラウンド、陸上競技用の走路も使用し充実した練習を行うことができます。昨年度のデンタルでは入賞者多数、数多くのメダルを獲得し、チームとしての成長を実感しました。また、春には合同合宿で東京校と交流を深め、デンタルに向けて共に切磋琢磨し、充実した時間を過ごすことができます。

本学には人工芝のグラウンドや陸上競技用走路、体育館のほかにもトレーニングルームやテニスコートがあり、体を動かして気分転換したい人には良好な環境が整えられています。皆さんも本学で勉強だけでなく運動も楽しみませんか。

剣道部

空手部

少林寺拳法部

野球部

ラグビー部

充実した環境を誇るスポーツ施設

体育館の１階にはトレーニングルームが完備されています。ランニングマシンやエアロバイク、ベンチプレスや腹筋を鍛えるマシンもありますので、それぞれの用途に応じて身体を鍛えることができます。

また、全面に人工芝を敷いたグランドはサッカーなどのクラブ活動で使用されており、学生からは好評を得ています。

バドミントン部

華道サークル

スキー部

写真部

微生物学グルンド

体育会系
- ウィンドサーフィン部
- 空手部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- サッカー部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ボウリング部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- 温泉卓球同好会
- ダンス同好会
- スキューバダイビング同好会

文化会系
- 軽音楽部
- 写真部
- PMA
- シネマ倶楽部
- 華道サークル
- 囲碁・将棋同好会
- ESS同好会

学術会系
- 解剖学グルンド
- 微生物学グルンド
- 訪問歯科グルンド
- 麻酔学グルンド
- SCRP

合同合宿

毎年早春のクラブ活動週間には、新潟と東京の両生命歯学部による
合同合宿が約1週間にわたって行われ、ともに汗を流します。
両生命歯学部の交流の場として、
なくてはならないイベントです。

新潟校と東京校揃って
楽しく活動しています!

富士見・浜浦フェスタ

「富士見・浜浦フェスタ」は新潟生命歯学部・生命歯学部の第４学年を対象に行われる合同ワークショップで、2019年は福島県猪苗代で開催されました。

“国家試験までのストラテジー” をテーマとし、1泊2日の緊密なスケジュールで、新潟校と東京校の学生を混合した班分けをし、課題にしたがい議論を重ね、発表を行います。これにより、日本の歯科医師となるために、全国29校の歯科大学・歯学部を先導する日本歯科大学特有のプロフェッショナリズムを身に付けることを目標としています。

東京校との貴重な交流の場

黒澤 未聖
Kurosawa Misato
新潟生命歯学部5年
群馬県富岡市出身

新潟生命歯学部・生命歯学部の第4学年が参加する富士見・浜浦フェスタと合同合宿に参加しました。富士見・浜浦フェスタでは、東京校の学生と1つの課題について話し合い、討論し、グループメンバー全員で協力して最後のプレゼンテーションに臨み、無事発表することができました。普段会うことのできない、同じ目標を持つ仲間とのこういった機会はとても貴重に感じました。それと同時に、一緒に頑張っていく同期の仲間の存在の大切さも改めて感じることができました。

合同合宿では、それぞれ各部活が東京校と共に練習に取り組みました。普段の練習とはまた違う活気にあふれ、とても楽しいです。練習の成果を互いに発揮し、更に技術を磨くことができました。

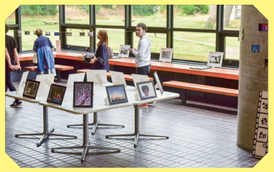
フェスタと合同合宿はたくさんの東京校の学生と交流ができる良い機会であり、普段は別々の新潟校、東京校を1つの日本歯科大学として実感することのできる素晴らしいイベントです。

浜浦祭

浜浦祭は6月に開かれます。
新潟短期大学の学生も参加し、学内の敷地には模擬店が並び、
特設ステージではイベントがいろどりを添えます。
歯科大学ならではの無料歯科相談や公開講座も行われます。

日本歯科大学 新潟生命歯学部
第40回 浜浦祭
Hamaura Festival

歯科大学ならでは
「無料歯科相談」



おいしい
ソフトクリーム
いかがですか？

公開講座は地域の
方々にも好評です！

オープンキャンパスも
同時開催

対外試合も
やっています！

対外試合

認知症カフェも
開催しています！

MY NDU LIFE 1

日歯新潟に通う先輩たちはどのような大学生活を送っているのかな？ 在学生のある1日をご紹介します。

大久保 雪野
Okubo Yukino
新潟生命歯学部2年
山梨県南アルプス市出身

文武両道の充実した学生生活

私は、山梨県から新潟に初めてきて4月から大学生活を始めました。

最初はどうなるんだろうと不安がありましたが、クラスメイトやサッカー部の先輩たちとさまざまな話をすることで徐々に不安もなくなりました。私は部活に入って文武両道を目指すことを目標に、部活も充実させつつ勉強もおこたらないように、毎日努力しています。部活の良い点は、身体を動かして勉強や実習で疲れた身体をリフレッシュすることができることです。またテスト期間はクラスメイトと分からないことを教え合ったり、問題を出し合ったり切磋琢磨しています。

前期の早期臨床実習では、新潟病院で歯科医療の現場を見学したり、実際に歯科器具に触れることができて、将来歯科医師になる自分を想像することができます。後期では、歯科の専門知識を習う実習などが増え、これから歯科医師を目指していく意欲が高まります。これからも自分のイメージする歯科医師になれるように日々の授業を大切にして勉強を行うとともに、部活にも取り組んでいきたいと思います。

Daily Schedule 大久保くんのとある1日

8:30

1時限目の授業に間に合うよう余裕を持って登校

1 起床
7 登校
9 実習
12 お昼休み
1 授業
5 クラブ活動
明日の予習
就寝

10:30

マルチメディア臨床基礎実習室で
手先の技術を養う授業もあります

12:30

お昼の休み時間にはよく
クラスメイトと学食でご飯を食べます

14:00

後期からは教養科目だけでなく
歯学の分野の授業も増えてきました

18:30

サッカー部は放課後のグラウンドで
気の合う仲間や先輩と楽しく活動しています

My favorite Point

1年生 大久保くんの1週間

■ は実習

	月	火	水	木	金
8:45	熱と物質の物理	総合英語	健康科学Ⅰ	材料科学	ファンダメンタルスキル実習Ⅰ
10:30	実用医学英語Ⅰ	生体物質の化学	ヒトの一生	国語表現法	ファンダメンタルスキル実習Ⅱ
12:00	お昼休み				
13:00	経済学	自然現象の数学	環境学の基礎	青年心理学	歯科医学入門演習（LBP）
14:45	基礎科学演習	基礎独語	歯学入門実習	医学概論・歯科医学史	
16:30				細胞の生物学	
18:00	図書館で勉強	サッカー部	サッカー部	学習室で勉強	友達とご飯

MY NDU LIFE 2

将来の歯科医師像が見えてくる臨床実習

5年生になると新潟病院での臨床実習がはじまります。

この実習では総合診療科を中心に、口腔外科や小児歯科、矯正歯科などの各科を回りながら、実際の患者さんに触れさせていただきます。

病院での実習中は日々緊張する場面もありますが、4年生までの講義や実習で学んだ知識や技能を最大限に活用し、実際の臨床現場で学ばせていただいています。今までの座学や実習とは違い、臨床実習で実際の治療に携わることで、臨床では、技術的なことはもちろん、患者さんとの信頼関係の構築も非常に重要であるということを身にしみて感じました。また、患者さんだけでなく、教えてくださる先生方や歯科衛生士の方々など、たくさんの人と接することで、将来自分がどのような歯科医師になりたいのか、より具体的に考えるよい機会となりました。

5年生は日々臨床実習と勉強で忙しいですが、実際の歯科医療の現場で先生方に多くのことを教えていただきながら、卒業後歯科医師になったら果たしていきたい医療現場での社会貢献について、夢をふくらませています。

Daily Schedule

浜島さんのとある1日

起 床

登 校

病院実習

ランチ

病院実習

学習室で勉強

家で勉強

就 寝

10:30

病院実習では患者さんの診療もさせていただきます

13:00

お昼の空いた時間に学食でランチをとります

14:00

診療の合間の空き時間には
スキルラボ室で自習をしています

15:00

鎮静法下での歯科治療を見学します

18:30

病院実習が終わったら放課後はよく
学習室で勉強をしています

5年生 浜島さんの1週間

□は実習

	月	火	水	木	金
8:45	病院実習	病院実習	病院実習	医科病院（耳鼻科）実習	病院実習
12:00	お昼休み				
13:00	病院実習	病院実習	在宅診療実習	病院実習	地域保健実習
18:00	ITセンターで勉強	カフェで自習	ITセンターで勉強	友達とロビーで勉強	友達とご飯

My favorite Point

新潟女子寮

NIIGATA GIRLS' DORMITORY

安心して大学生活を送れます！

日本歯科大学新潟女子寮は日本歯科大学から徒歩約5分の距離にあり、とても近いため通いやすいです。自転車を使うとすぐに行き来ができて便利です。

女子寮には常に寮母さんがいてくださり、困ったときには対応してくれるのでとても心強いです。

寮の玄関はオートロック式で、一人ひとりの部屋はカードキーになっていますのでセキュリティは安全になっています。寮には、ベッドと冷蔵庫、エアコンが備え付いており、洗濯機は共同で使いますが、台数がたくさんあるので洗いたい時に自分のタイミングで自由に使うことができます。乾燥機も洗濯機と別にあるので、とても便利です。

一階のロビーには、自動販売機やコピー機もあり、いつでも使用可能です。寮生の皆が集まって話すことができ、気に入った空間です。また、寮には歯科技工室があり、いつでも使うことができ、実習の課題は持ち帰って作業できます。

その他、寮での生活では、友達の部屋に集まって話したり、ご飯を一緒に作って食べたりすることもあり楽しく過ごせます。

寮には常に同じ環境の人達がいるという安心感があり、初めての一人暮らしが不安な人でも新生活をスムーズにスタートすることができると思います！

玄関はオートロック、寮室はカードキーでセキュリティもバッチリ。

ロビーは楽しいおしゃべりの場になっています。

歯科大学ならではの技工室も完備。
実習の課題を持ち帰って作業できます。

大学から徒歩5分！ 絶好のロケーションです。

名　　称	日本歯科大学新潟生命歯学部新潟寮
所 在 地	新潟市浜浦町
通学時間	新潟生命歯学部より徒歩約５分
建　　物	地上３階
敷　　地	999.5m²
室　　数	30
入 寮 費	７万円
寮　　費	月額３万５千円(光熱費など自費)

寮　　室	Aタイプ：21.08m² Bタイプ：23.46m²
居室備品	冷蔵庫、ミニキッチン、電気調理器、棚板、机、本棚、ベッド、ミニ箪笥、パイプハンガー、バス、トイレ
共　　用	共同実習室(技工室)、ランドリー室、ごみ収集室、自転車置場

全国各地から学生が集まっています

新潟市は、新潟空港や、高速道路、さらに東京まで最短97分の上越新幹線などインフラが整っており、全国から学生が集まっています。故郷を離れ新潟で学ぶ学生の声をお聞きください。

海外の都市にも直行！

ウラジオストク(ロシア)まで	約１時間30分
ソウル(韓国)まで	約２時間30分
上海(中国)まで	約３時間
グアム(アメリカ)まで	約３時間45分

北海道

入江 萌香
Irie Moeka
新潟生命歯学部2年
北海道函館市出身

北海道から新潟へは、飛行機や新幹線、フェリーなどさまざまな交通手段で行くことができます。新潟の良さは北海道と比べて雪が少なく、冬でも自転車に乗れるところだと思います。また、多くの商業施設やライブハウスなどがあり、日々充実しています。

兵庫

林　志織
Hayashi Shiori
新潟生命歯学部2年
兵庫県宝塚市出身

兵庫から新潟へは伊丹空港から新潟空港まで飛行機の直通便があり、約１時間程度で行くことができます。また新幹線を利用することもできます。新潟の夏は暑すぎず、冬も新潟市内は思っていたよりも雪がふることがなく暮らしやすいです。

沖縄

石川 大祐
Ishikawa Daisuke
新潟生命歯学部2年
沖縄県うるま市出身

沖縄から新潟へは、飛行機の直行便があるのでお正月の帰省などには大変便利です。新潟の冬場は不安がありましたが、新潟市内は全然雪が積もらないのでとても住みやすいです。部活は3つ兼部していて、日々の勉強とともに充実した学生生活を送っています。

香川

西原 節花
Nishihara Setsuka
新潟生命歯学部2年
香川県高松市出身

香川から新潟へは、岡山を経由して新幹線を使っています。新潟には香川にはないお店がたくさんあるので休日には新潟駅周辺に良く遊びに行きます。また大学のすぐ近くには海があり、瀬戸内海とは一味違った日本海の景色を楽しめます。

東京

藤田 麻央
Fujita Mao
新潟生命歯学部2年
東京都世田谷区出身

東京から新潟へは上越新幹線で約2時間です。いつでも帰れる距離なので一人暮らしも不安を感じずに過ごせます。またスキューバダイビング部に所属しており、今年の秋は佐渡にライセンスを取りに行ってきました。

日本海側最大の交通拠点

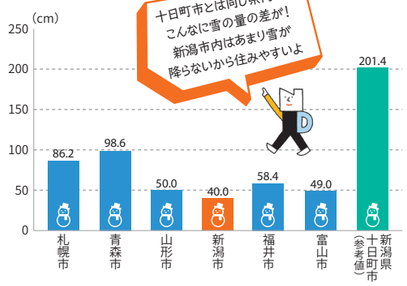
毎年約100万人が利用する新潟の空の玄関口、新潟空港。国内線は北は札幌から南は沖縄まで、多くの主要都市と直通便が通っています。国際航路もソウルをはじめ多数の直行便が開設されています。東京へは、上越新幹線で最短97分！ 関西方面へのアクセスも充実しています。関越自動車道や北陸自動車道などの高速道路も整備されており、車、高速バスの移動も便利です。また海路も新日本海フェリーでは、新潟を経由して敦賀と北海道を結んでいます。2007年、政令指定都市に制定された新潟は、日本海側最大の都市として発展を続けています。

年中通して過ごしやすい気候

新潟といえば雪深く寒いというイメージですが、右のグラフからもわかるように内陸部は別として、新潟市は降雪量は少なく、積もることはあまりありません。1、2月の最低気温も氷点以下になることの方がまれです。また、夏季の平均気温もそれほど高くないことからも、1年を通してとても過ごしやすい都市といえます。

県庁所在地年間平均最深積雪量

2014～2019年／気象庁調べ



CAMPUS LIFE

GOOD! NIIGATA

新潟生命歯学部のある新潟市中央区は市の中心に位置し、緑も多く生活に便利なところ。
皆さんが大学生活を送る魅力たっぷりな新潟市のおすすめスポットをご紹介します。

西海岸周辺

新潟生命歯学部のすぐ近くにある関屋浜の夕景1は「絶景」の一言。マリンピア日本海2は本州日本海側最大級の水族館。大人気のイルカのショーはチャンスがあればステージに参加することもできます。

1 関屋浜の夕景

2 マリンピア日本海

古町周辺

昔ながらの街並みを残す古町エリアには、多くのお店が連なる古町モールがあります。新潟名物たれかつ丼で有名なとんかつ太郎3も古町にあります。初詣や新潟まつりで賑わう白山神社4も古町エリアから少し足をのばしたところにあります。

3 とんかつ太郎

4 白山神社

柳都大橋周辺

朱鷺メッセ5はさまざまなイベントが開催されるコンベンションセンター。31階にある展望台からは市内を一望することができます。信濃川の河口にあるみなとぴあ6は新潟市の歴史博物館です。

5 朱鷺メッセ

6 みなとぴあ

万代周辺

日本百名橋のひとつ萬代橋7付近は、大型ファッションビルのLoveLa万代やLoveLa2、8、映画館の入るビルボードプレイスなどが立ち並ぶ新潟市一の繁華街。万代シテイバスセンターには大人気のカレーが食べられるお蕎麦屋さんがあります。ぜひ一度お試しを！

7 萬代橋

8 LaveLa2

やすらぎ堤周辺

りゅーとぴあ9はコンサートホールや劇場などを備えた新潟市民芸術文化会館。やすらぎ堤10は信濃川下流の堤防で、新潟市政100周年植樹祭で植えられた桜と柳が河川沿いに続き、市民の憩いの場となっています。

9 りゅーとぴあ

10 やすらぎ提

スポーツ観戦

Jリーグ、アルビレックス新潟の本拠地がビッグスワンスタジアム11。試合開催の当日は熱狂的サポーターでスタジアムは超満員になります。その隣にはHARD OFF ECOスタジアム12がありプロ野球の公式戦も開催されます。

11 デンカビッグスワンスタジアム

12 HARD OFF ECOスタジアム

写真協力：新潟観光コンベンション協会、にいがた観光ナビ

FROM GRADUATES 先輩からのメッセージ

歯の治療だけでなく全身もケア

佐藤 加奈先生 Sato Kana

1999年日本歯科大学新潟歯学部卒業
1999年日本歯科大学新潟病院勤務を経て、
新潟・富山県内の総合病院に勤務
2009年まるちよ歯科医院に勤務
日本歯科大学新潟生命歯学部 研修指導医

佐藤 大一先生 Sato Daichi

1999年日本歯科大学新潟歯学部卒業
札幌市内の開業医に勤務
2004年まるちよ歯科医院開業
日本歯科大学新潟生命歯学部 研修指導医

大学の進路に悩んでいた頃、幼少期に歯科医師である父に「歯医者さんの仕事は楽しいの?」と質問したことがあり、その時の答えが「患者さんにありがとうと言われるとやっぱり嬉しいな〜」と言っていたことを思い出し、働く父の姿を見て、歯学部を目指そうと決めました。

進学後は全国各地から集まったたくさんの同級生や先輩方に出会えました。新潟は海あり山あり、自然豊かで勉強の傍らマリンスポーツやスキー・スノーボードなどのウインタースポーツを楽しみ、また、キャンパスは新潟市の中心に位置していたため、生活をする上でもとても良い環境でした。先生方にもとても良く指導していただき、勉強は大変でしたが充実した6年間を過ごすことができました。共に学んだ学友とは20年経った今でも交流が続いています。

卒業後は手術を主に行う歯科口腔外科へと進みました。その当時まだ歯科口腔外科に女性は少なかったのですが、毎日奮闘し知識と技術を学び10年ほど口腔外科医として勤務、その後結婚を機に、現在の医院で仕事をしています。今は主に訪問歯科診療と病院内で手術が必要な患者さんの手術を担当しています。

訪問歯科診療では、高齢者・障がい者への治療を行い、ご飯が食べられなくなった患者さんの歯を治したり、入れ歯を作ったりしています。治療を行った高齢の患者さんから、「ありがとう、先生に命を助けてもらった」と言われた時は、歯科医師になって良かったと、父のあの時の言葉は本当だったなと、改めて自分の進んだ道は間違っていなかったと感じました。

歯学部での6年間は長く感じるかもしれません、でも、過ぎてしまえばなんて短い6年だったのだろうと思います。歯科医師は歯の治療だけではなく、体全体の健康を守り、助けられるとても素晴らしい職業です。ぜひ新潟生命歯学部で歯科医師を目指してみてはいかがでしょうか。（佐藤 加奈）

患者さんのために最善を尽くすこと

安部 まゆ先生 Abe Mayu

2003年日本歯科大学新潟歯学部卒業
日本歯科大学新潟病院総合診療科勤務の後、
京都市内開業医へ就職。結婚を機に静岡へ

安部 貴之先生 Abe Takayuki

2003年日本歯科大学新潟歯学部卒業
日本歯科大学新潟病院総合診療科勤務の後、
静岡市内開業医就職。2014年安部歯科医院開業
日本口腔インプラント学会専門医

歯学部の受験を決め、将来歯科の道に進むと決心した高校生時代の私自身に、では、どんな歯科医になりたいのかと聞いてみたとしても、何となく漠然とした歯医者さんのイメージしか無かったような気がします。

私たちは1997年に新潟歯学部に入学しました。学生時代は、夫である院長はウィンドサーフィン部で主将を務め、私はバドミントン部と学生会に所属し、それぞれの青春を謳歌しました。学生時代を通し、多くの先輩方や先生方のご指導を受けることで、歯科の道も多種多様であるということを知りました。そして、どの道を進んだとしても、我々歯科医に絶対的に必要なことがあるということも教えてもらいました。それは「患者さんのために最善を尽くすこと」です。患者さんに必要なことは何か、患者さんは何を望まれているのか、自分は患者さんのために何ができるのか、日常の臨床において、私たちは常に頭の中をフル回転させていなければなりません。そのために必要なコミュニケーション能力や問題解決能力を6年間の学生生活の間にも、ある程度身につけられるよう意識していってほしいと思います。また、歯科医は生涯勉強が必要になります。日々の医療技術の進歩に遅れをとらないよう、常に情報をアップデートし、その知識や技術を患者さんのために活かす努力を忘れてはいけません。

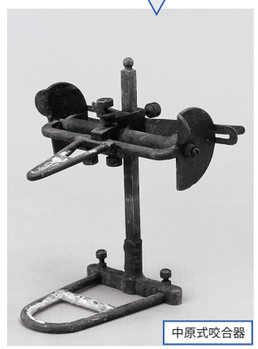
歯科医はとても大変な仕事です。しかし、その分、喜びや充実感も大きいです。今は子育てと仕事の両立に毎日休む暇がありませんが、とても楽しい日々を送らせてもらっています。（安部 まゆ）

日本歯科大学創立114周年　これまでのあゆみ

歯科界のパイオニアとして

創立者｜中原市五郎 先生

動画をCHECK!



中原式咬合器

創立者中原市五郎は、慶応３年長野県上伊那郡下平村（現在の駒ケ根市赤穂村）に生まれる。明治22年５月歯科医術開業免状を受け、明治23年中原歯科医院を開業。一方麹町区会議員となり、子どもたちの口腔衛生の向上に努める。これは学校歯科医制度の先駆けで、『児童と歯牙の関係』も刊行した。

10数年来念願であった歯科専門機関の創設に向けて力を注ぎ、明治40年６月私立共立歯科医学校を設立。明治44年２月、日本歯科医学専門学校校長に就任。大正４年９月メリーランド大学より学位ドクトル・オブ・サイエンスを贈られる。大正８年12月日本歯科医学専門学校理事長に就任し、本学発展の基盤を築いた。昭和11年８月名誉校長となる。若い頃からの熱心な勉学、旺盛な研究心で、中原式咬合器など歯科医学に関する多くの発明もある。書、俳句、短歌を好む。昭和16年３月22日逝去、75歳。

芸術、教育、医療人として頂点を極めた巨匠

名誉学長｜中原　實 先生

撮影：秋山庄太郎

ヴィーナスの誕生（油彩・カンバス）115×90cm

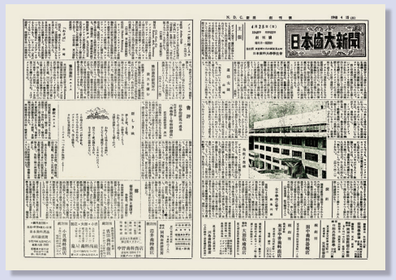
中原實は大正４年日本歯科医学専門学校卒業。大正７年ハーバード大学歯学科卒業。第一次大戦の真っただなかに渡欧。パリで義勇兵を志願し、仏国歯科軍医として、ヴァル・ド・グラス陸軍病院、ビッシーの第45戦時病院に勤務、顔面戦傷の兵士の治療にあたった。終戦後、歯科教育事情視察のため、ヨーロッパ各地に滞在。一方、西欧の絵画芸術に魅せられ、安アパートに住まい、モデルのデッサンに励み、ルーブル美術館や画廊をめぐり、若きピカソと一緒に絵を描き、藤田嗣治と意気投合するなど、絵画芸術に傾倒した。大正12年帰国し本学教授となる。昭和16年本学理事長に就任。昭和37年日本歯科医師会会長となる。昭和47年日本私立大学協会会長。自ら絵筆を取り、二科会理事の任にも就く。その作品はわが国を代表する前衛画家として今も光彩を放っている。平成２年10月15日逝去、99歳。

日本歯科大学新聞

『日本歯科大学新聞』は昭和23年４月に創刊され、すでに650号を超える本学の新聞。創刊当初は学生が主体となり編集作業を行っていた。昭和47年からは学内報として現在と同じ小型のタブロイド版となった。

創刊号と第２号は散逸していたが、姉妹校のメリーランド大学図書館に収蔵されていることがわかり、現在は日本の国立国会図書館でもマイクロフィルムで閲覧できる。

年８回発行。１年間の縮刷版も発行している。



日本歯科大学新聞創刊号（昭和23年）

日本歯科大学新聞662号（令和２年）

日本歯科大学新聞661号（令和元年）

1867（慶応３年）	５月	中原市五郎、長野県にて生まれる
1889（明治22年）	６月	歯科医術開業試験に合格し、麹町で開業
1907（明治40年）	６月	中原市五郎、私立共立歯科医学校を麹町区（千代田区）大手町に創立
	10月	神田区（千代田区）雉子町34番地に移転
1909（明治42年）	６月	麹町区富士見町に移転、私立日本歯科医学校と改称
	８月	専門学校令に基づき私立日本歯科医学専門学校に昇格
1911（明治44年）	２月	中原市五郎、校長に就任
1919（大正８年）	12月	財団法人日本歯科医学専門学校を改組。中原市五郎、理事長に就任
1936（昭和11年）	９月	中原市五郎、名誉校長となり、加藤清治、校長に就任
1941（昭和16年）	３月	中原　實、理事長に就任
1947（昭和22年）	６月	日本歯科大学（旧制）に昇格、大学予科を開設
1948（昭和23年）	１月	中原　實、学長に就任
1951（昭和26年）	２月	学校法人日本歯科大学となる
1952（昭和27年）	４月	新制日本歯科大学となる
1960（昭和35年）	４月	大学院歯学研究科（博士課程）を設置
1968（昭和43年）	４月	附属日本歯科技工専門学校（歯科技工士科）を設置
1971（昭和46年）	４月	附属日本歯科技工専門学校を附属歯科専門学校と改称、歯科衛生士科を増設
1972（昭和47年）	４月	新潟歯学部を増設
1981（昭和56年）	４月	中原　爽、学長に就任
	６月	新潟歯学部附属医科病院を開院
1983（昭和58年）	４月	附属新潟専門学校（歯科衛生士科）を設置
1984（昭和59年）	８月	中原　爽、理事長に就任
1985（昭和60年）	５月	本学主導の「口腔保健のための国際姉妹校連合IUSOH」を結成
1987（昭和62年）	４月	附属新潟専門学校を新潟短期大学（歯科衛生学科）に昇格
1989（平成元年）	９月	新潟歯学部内に医の博物館を開館
1990（平成２年）	４月	大学院新潟歯学研究科（博士課程）を設置
1991（平成３年）	４月	中原　泉、学長に就任
1995（平成７年）	６月	佐藤　亨、学長に就任
1999（平成11年）	２月	新潟歯学部に先端研究センターを設置
2000（平成12年）	４月	中原　泉、学長に就任
	７月	中原　泉、理事長に就任
2005（平成17年）	４月	附属歯科専門学校を東京短期大学に昇格
2006（平成18年）	１月	千代田区大手町に「日本歯科大学発祥の地」記念碑を建立
	４月	歯学部を生命歯学部、新潟歯学部を新潟生命歯学部に改称
	６月	創立100周年。100周年記念館を竣工
2012（平成24年）	10月	東京都小金井市に口腔リハビリテーション多摩クリニックを開院
2016（平成28年）	12月	新潟生命歯学部生物科学施設改修
2017（平成29年）	７月	米国国際誌『Foreign Affairs』に本学記事が掲載される
2018（平成30年）	４月	新潟県三条市に在宅ケア新潟クリニック開院
2020（令和２年）	４月	藤井一維、学長に就任

← 日本歯科大学の歴史をまとめた動画はこちら

1909年当時の校舎

1934年当時の附属病院

1972年新潟歯学部入学式

開院当時の新潟病院・医科病院

医の博物館

先端研究センター

創立110周年記念式典

新潟生命歯学部生物科学施設

在宅ケア新潟クリニック

医の博物館

動画をCHECK!

月岡芳年の浮世絵
「新柳二十四時　午後一時」

国内外の医学資料を公開

日本で初めて開設された公的な医学博物館です。16世紀から現在に至る東西の古医書、医療器械器具、その他記録類などを一般公開しています。なかでも解体新書の原本や、房楊枝を使って歯磨きをする江戸時代の浮世絵など、普段目にしない珍しい資料が多く、興味が尽きない博物館です。姉妹館として、パリのピエール・フォシャール博物館、アメリカのハートフォード医学・歯科医学歴史博物館、中国の中国口腔医学博物館があります。

『解体新書』
「ターヘルアナトミア」の日本語訳

B.S.アルビヌス『人体筋骨構造図譜』

J.A.クルムス著『ターヘルアナトミア』原書
（オランダ語版）

聴診器

歯学の歴史を学べる貴重な場

医の博物館には、世界の医学史に関わる古く貴重な洋書や、江戸時代に書かれた医学に関する記録や浮世絵、かつて診察や治療に使われていた道具の数々など、医・歯学がこれまでどのように発展してきたのかを見て、実感できるような歴史的な展示物が数多くあります。

これから歯学を学ぶ上でためになる資料を、いつでも見に行くことができる素敵な空間です。平日やオープンキャンパスがある日は開館しているので、ぜひ１度館内を見学してみてください。

森岡 美羽
Morioka Miu
新潟生命歯学部2年
山形県山形市出身

校友会・歯学会

学術フォーラム

歯科界の向上を目指して

新潟生命歯学部と生命歯学部の卒業生は、同窓生の組織である「日本歯科大学校友会」と学術組織である「日本歯科大学歯学会」に加入します。なお、同じ年度に新潟生命歯学部あるいは、生命歯学部を卒業した者は、互いに区別なく同じ卒回の校友会員となります。

本校友会は、わが国における歯科大学の同窓会組織としては、最大規模を誇っています。そして、校友会員として先輩・後輩と固い絆に結ばれて、歯科界において有形無形に協力しあって、自らの向上に務めています。

校友会と歯学会は協力して、生涯研修活動を実施しています。毎年地区を巡って開催する「歯学研修会」と、本学に集って行う「ポストグラジュエート・コース」および本学独自の企画である「国際歯学研修会」の三本立で卒後研修を行っています。

このように卒業後も本学との関係を密接に保ち、研修会、定期刊行物などを通して、歯学界の発展という共通の目標のもと、生涯にわたり学術研鑽への道を歩み続けています。

校友会・歯学会が発行する『校友会・歯学会会報』は年４回。『歯学』は臨床と研究を一体とした学際的内容が中心。年２回発行。

国際歯学研修会

校友会歯学会入会歓迎会

メッセージ　MESSAGE

宮川 慎二郎先生
Miyagawa Shinjiro
日本歯科大学新潟歯学部75回卒業
日本歯科大学校友会 常務理事
（医）落合歯科医院理事長

ようこそ日本歯科大学校友会へ

私は新潟校を卒業し、現在小児歯科医として開業医をしています。大学時代はボート部に所属し、関屋分水で汗を流していました。ずいぶん様変わりしているのですが、この大学に来ると、懐かしくほっとした気分になりやはり母校というのは素晴らしいです。

本学は2万余名の卒業生を抱える世界最大の歯科大学で、卒業後に何処に行かれたとしても、母校の先輩方に見守っていただけます。

校友会といっても学生の皆さんはピンとこないかもしれませんが、卒業して開業する頃は周りに同級生はいなく、不安になったり困った時の相談相手もいません。そんな時、経験豊富な先輩が助けてくれます。日本歯科大学校友会の団結は強く、他校のものとは全く違います。

私の場合、実家が歯科とは関係のない職業でしたので、卒業時に不安がありました。小児歯科医師を目指し、千葉の大きな診療所に勤務しました。この時も知り合いがいないのに小児歯科の診療所にすぐに勤められたのは、日本歯科大学出身のおかげでした。当然、日本歯科大学校友会の先生の診療所でした。開業の時にも日本歯科大学の先輩に助けていただきました。

校友会は卒業生をまとめ、日本歯科大学を支える組織です。困った時には何でも相談に乗ってくださる先輩方がいますので遠慮なくご連絡ください。

サポート体制

学術奨励制度

▶優秀な人材を育成することを目的として、学力・人物とも優れた者に学術奨励金を支給します。

▶年度末に選考を行い、各学年10名以内に対し、1名の者に30万円、そのほかの者には各々10万円を一括支給します。

▶学術奨励金は、返還を必要としません。

育英奨励制度

▶在学中、不幸にして学費負担者が死去したために修学が困難になった場合、学生の経済的援助を行うことを目的として、育英奨学金を支給します。

▶育英奨学金は毎月７万円、年額84万円を支給します。

▶育英奨学金は、返済を必要としません。

医科病院が“保健室”代わりに

附属の医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科で構成され、臨床実習などで関連医学を学習します。万一具合の悪くなった場合、医科病院が“保健室”の役割を担っています。また、臨床心理士が毎週来校しており、精神面や生活面に関するさまざまな悩みを相談できます。

国家試験対策

第１学年から第６学年にかけて、各レベルに応じた整合性のある段階的な教育を実施しています。第６学年では、これまで学んだ基礎系・臨床系科目の内容と臨床実習での成果をもとに、総合的な歯科医学を徹底的に学びます。

特待生制度

▶入学試験において成績上位者、成績優秀者および地域特待があり、入学金、授業料、教育充実費、施設維持費をすべて半額に減免するという制度です。

学生納付金

	特待生	一般学生
入　学　金	300,000円	600,000円
年 間 授 業 料	1,900,000円	3,800,000円
年間教育充実費	365,000円	730,000円
年間施設維持費	300,000円	600,000円
６ 年 間 合 計	15,690,000円	31,380,000円

＊学費ローンについて
学校法人日本歯科大学では、入学金や授業料の支払いに利用できる学費ローンを信販会社３社と提携しております。
お問い合わせ・ご相談は入試課へ。（**025-267-1500**）

保護者説明懇談会

学年ごとに保護者にお集まりいただき、国家試験などの現状を報告するとともに、クラスの指導方針などについて説明しています。

新潟と東京の両生命歯学部の連携

合同ワークショップ

少子高齢化を伴う地域医療、最先端の医療技術など医療はさまざまな対応が迫られています。そうした社会要請にこたえるために、教員および職員の能力向上のため研修を積極的に展開しています。合同ワークショップの期間中、新潟と東京の教職員が昼夜を問わず白熱した議論を交わします。

OPEN CAMPUS 2020

日本歯科大学新潟生命歯学部オープンキャンパス

開催日程（予定）

6/13（土）　7/11（土）　7/31（金）　8/5（水）　8/22（土）　10/3（土）

START 11:20（受付 10:30） — CLOSE 16:00

※新型コロナウイルス感染症の状況次第では延期・中止等になる可能性がありますので最新情報はホームページでご確認ください。

主なプログラム（予定）

受付
在学生が皆さまをお出迎えします。

大学説明会
教員や在学生による説明会を実施します。

ランチ
ランチを食べながら在学生にさまざまな話を聞くことができます。

体験実習
マルチメディア臨床基礎実習室を使って体験実習を行います。

キャンパスツアー
学部の施設だけでなく、新潟病院内や医の博物館も見学します。
このほか、女子寮見学や入試個別相談も行っています。

ここがポイント！

- マルチメディア臨床基礎実習室のすばらしさを体験
- 服装は自由（白衣は貸出しいたします）
- ご家族の同伴も歓迎（保護者説明会も開催予定）
- 参加者は受験料が免除（1回分）
- 新潟市外から参加の方へホテル宿泊補助

※総合型選抜の受験はオープンキャンパスへの参加が条件です。

お問い合わせは
日本歯科大学新潟生命歯学部 入試課
Tel. 025-267-1500

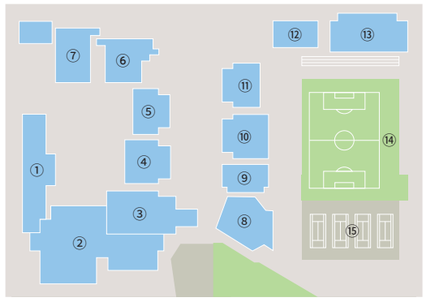
詳しくはWebへ！
日本歯科大学新潟生命歯学部 ホームページ
http://www.ngt.ndu.ac.jp

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本学はディプロマポリシーを達成するために、
下記のような学生を求めています。

- 生命体と歯科医学の関連に強い関心をもって、追求できる人
- 高い目標意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人
- 医療人として地域社会に貢献する強固な意志をもつ人
- 歯科医学に関する知識、技能、態度を十分習得できる基礎学力のある人
- プロフェッションとして高い倫理観をもつ人
- 高いコミュニケーション能力をもつ人
- 国際的な活動に関心を持ち、必要性を認識できる人
- 超高齢社会における歯科医療の役割を理解できる人
- 生涯にわたり継続的に能力の向上に努める人

CAMPUS MAP



① 医科病院
② 新潟病院（コンビニエンスストア）
③ 本館（事務室・図書館）
④ １号館（アイヴィホール・講義室・マルチメディア臨床基礎実習室）
⑤ ２号館（講義室・実習室・ITセンター）
⑥ ３号館（新潟短期大学主要校舎）
⑦ 先端研究センター
⑧ 講堂
⑨ 医の博物館、GAKUSHOKU、売店
⑩ ４号館（講義室・実習室・セミナー室）
⑪ ５号館（講義室・実習室）
⑫ 学生会館（武道場）
⑬ 屋内運動場（トレーニングルーム）
⑭ グラウンド
⑮ テニスコート

Googleインドアビュー
大学施設の内部をWEBから覗いてみよう！

大学は敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。
キャンパス禁煙支援委員会

ACCESS MAP

➡新潟駅前バスターミナルより「浜浦町線（西循環浜浦町先回り）」で約25分、浜浦町１丁目下車 徒歩１分
➡JR越後線関屋駅から徒歩10分
➡JR新潟駅から車で約15分

日本歯科大学 新潟生命歯学部
〒951-8580　新潟県新潟市中央区浜浦町1-8　Tel: 025-267-1500

新潟生命歯学部　検 索

入学試験要項のご請求はこちらへ